

IDWR

静岡県

2026 年第 29 週(7月13日～7月19日)

Infectious Diseases Weekly Report Shizuoka

感染症週報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に
基づく感染症発生動向調査より

作成 静岡県健康福祉部感染症対策課／静岡県環境衛生科学研究所

(2026 年7月 24 日公開)

手足口病の警報レベルが続いています。(第29週9.02)

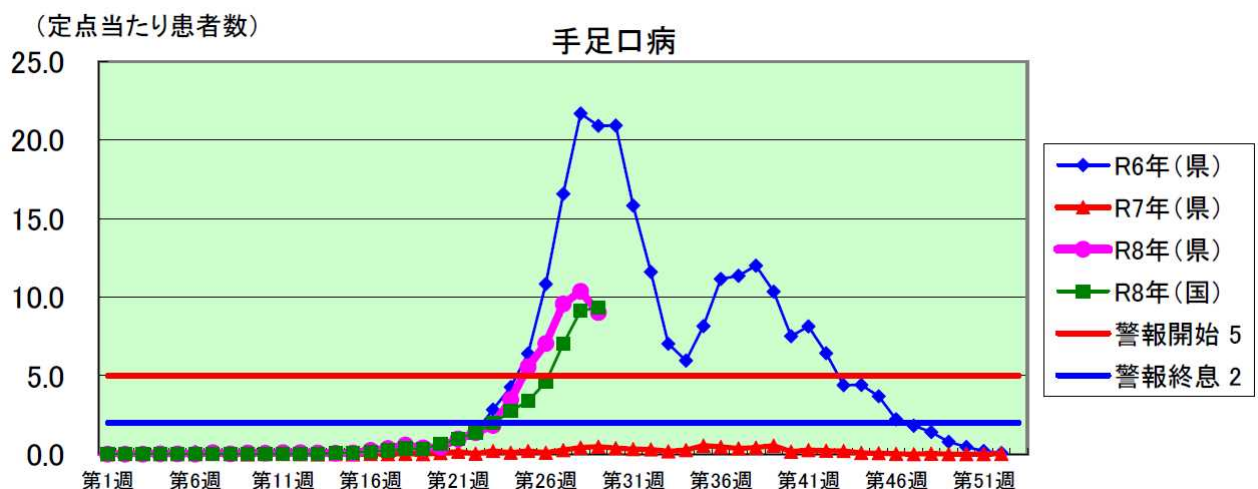
2026年第25週(6/15～6/21)の定点当たり患者数は、県全体で前週の3.47から5.56に増加し、警報レベルの基準値の5を超えました。

前回、警報レベルとなったのは、2024年第25週(6/17～6/23)(定点当たり患者数6.40)で第46週(11/11～11/17)まで警報レベルが継続しました。過去の傾向では、7月頃にピークとなり、9月頃に終息しています。年齢別の患者割合は5歳以下の未就学児が90%以上で、2歳以下が約80%以上です。

手足口病は口の中、手のひら、足の裏や甲などに水疱性発しんが現われ、発熱(38℃程度)する病気です。咳やくしゃみによる飛沫感染、だ液(つば、よだれ)、鼻水、便、つぶれた水疱から出てきた液からの接触感染がありますので、手洗いを徹底するとともに、排泄物を適切に処理することが大切です。※ウイルスの便への排出は、治癒後も3～4週間続きます。

乳幼児は口内に病変がある場合には、飲食に痛みを伴い、食欲不振となることがあります。口の中の水疱に当たっても痛みが少ない薄味で軟らかい食事にしたり、少量ずつ分けて食べる等、水分補給、栄養補給に努めましょう。それでも水分が摂れず、尿の回数や量が減ってきたときや、高熱や嘔吐でぐったりしたり、頭痛が強いときは、医療機関を受診してください。また、受診に迷った際は、静岡こども救急電話相談(#8000)を御利用ください。

※警報レベルの開始は定点当たり患者数は5、警報レベルの終息は2です。



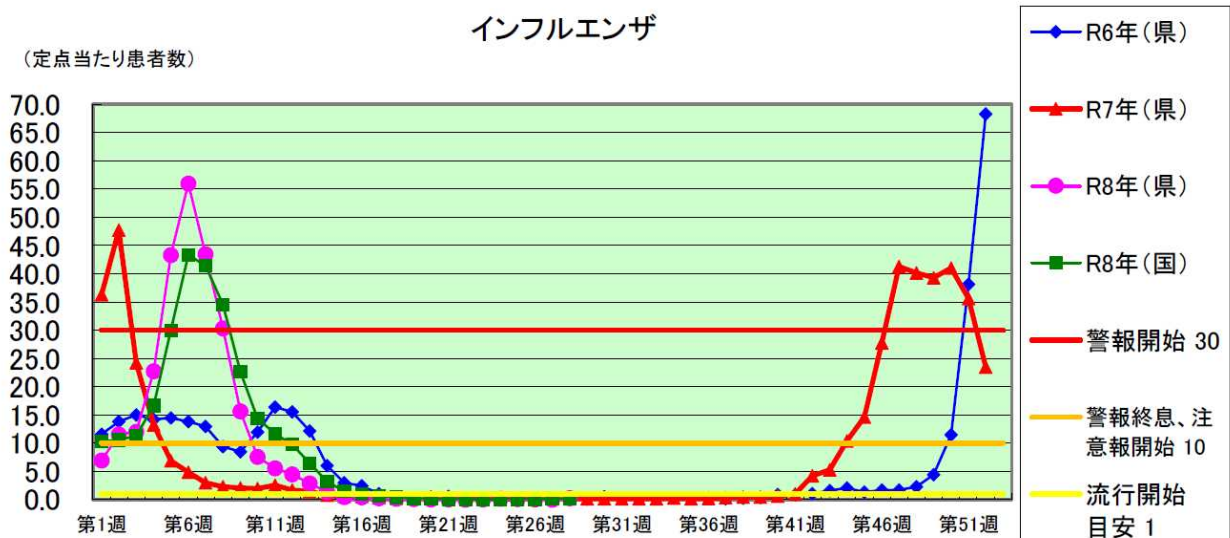
インフルエンザの流行は終息しています(第29週0.19)

インフルエンザの発生動向調査は、9月1日から新シーズン(2025-2026シーズン)となり、新シーズン7週目となる、2025年第42週(10/13～19)の感染症発生動向調査で、静岡県内のインフルエンザの定点当たり患者数が流行開始の目安とされている1以上となり(第42週:4.23)、流行期となりました。第44週(10/27～11/2)には注意報開始基準の10を超え(第44週:10.40)、注意報レベルとなり、第47週(11/17～23)には警報開始基準の30を超え(第47週:41.26)、警報レベルとなりました(記録が残る2002年以降、2009年、2023年と並び、最も早い警報入りです(2009年第47週(11/16～)、2023年第47週(11/20～)))。その後、横ばいの状況が続きましたが、2026年第1週(12/29～1/4)には6.94となり、警報終息基準値の10を下回りました(警報の期間:2025年第47週～2025年第52週(11/17～12/28))。その後、2026年第2週(1/5～11)には11.55となり、再度10を上回り注意報レベルとなり、第5週(1/26～2/1)には、30を上回り再び警報レベルとなりましたが、第10週(3/1～8)には警報解除基準値の10を下回り終息しました。その後、2026年第15週(4/6～4/12)には流行の目安である1を下回り、流行が終息しました。

今シーズンの流行は終息しましたが、県民の皆様には、引き続き、他の感染症の発生動向も御確認いただき、必要に応じて咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に御協力をお願いします。また、今年の秋には、ワクチン接種を検討していただくようお願いします。

※インフルエンザの定点当たり患者数とは、県内の内科・小児科定点医療機関から報告された1週間の患者数を機関数で割った数値です(県内の内科・小児科定点医療機関数: 2026年第13週までは139、2026年第14週からは112、2026年第18週からは108)。

※流行開始の目安とされている定点当たり患者数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。

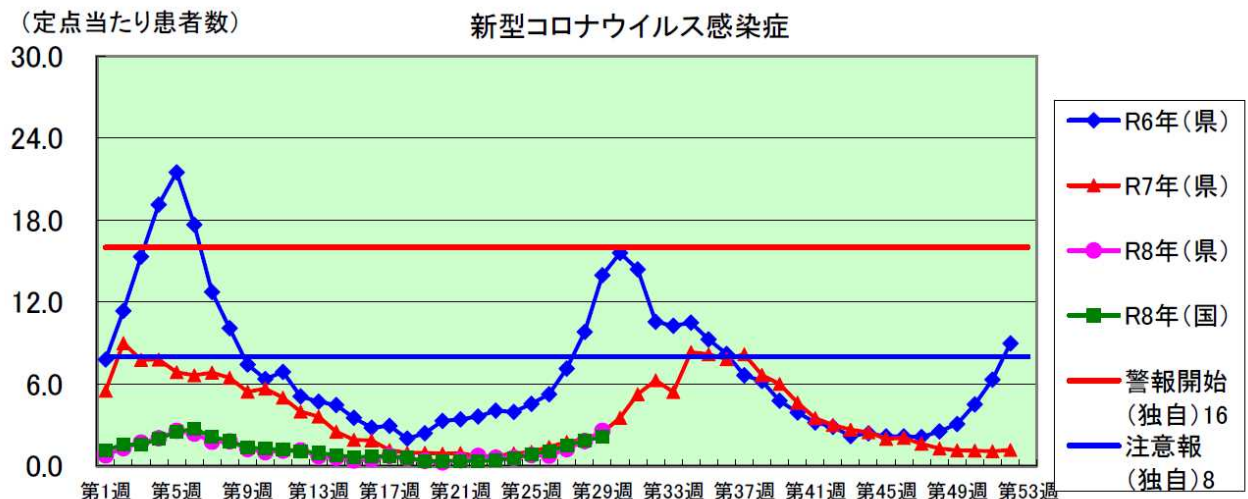


新型コロナウイルス感染症の発生が増加しています(第 29週2.58)

2025 年第34週(8/18～24)の定点あたり患者数が 8.34 と注意報基準値の8を超えたため、8/29 に感染症拡大注意報を発令しました(昨年は第 30 週(7/22～28)がピークで定点あたり患者数が15.60、注意報は7/19～9/19の約9週間続きました)。第 36 週(9/1～7)は、7.80 と基準値の8を下回ったため、感染拡大注意報を解除しましたが、第 37 週(9/8～14)に8を超えたため、再度、注意報を発令しました。第 38 週(9/15～21)は、6.65 と基準値の8を下回ったため、感染拡大注意報は解除されています。(注意報期間:8/29～9/11、9/19～25)。

2026年第21週(5/18～5/24)から定点あたり患者数の増加傾向が続いており、昨年と似た推移をたどっています。

現在、感染拡大注意報基準である定点あたり8人を下回っていますが、県民の皆様には、引き続き、他の感染症の発生動向も御確認いただき、必要に応じて咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に御協力をお願いします。



RSウイルス感染症の発生が増加しています。(第29週 0.53)

RSウイルス感染症には、国が定める注意報や警報の基準値はありませんが、静岡県では、定点医療機関当たり1週間の報告数が0.5で「流行が始まる可能性あり」、1以上で「流行期に入っている」と考えています。

静岡県内のRSウイルス感染症の定点医療機関当たり1週間の報告数は、今年に入ってから、0.3前後の発生が続いていましたが、第14週からは0.5を上回り、今後さらに増加する可能性があります。なお、県内の患者の年齢は、80%以上が2歳以下です。

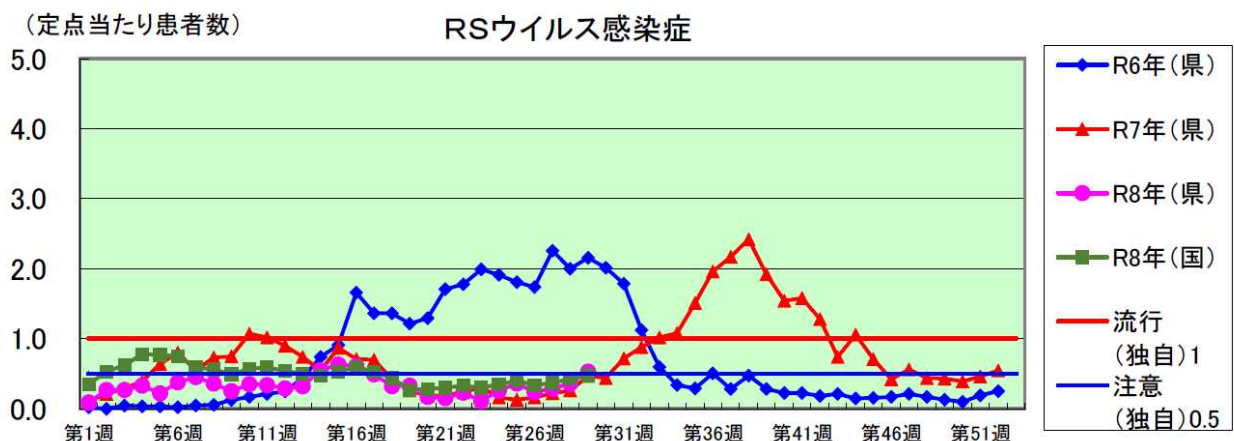
RSウイルス感染症は、飛沫感染(咳、くしゃみの飛び散り)や接触感染(鼻水や痰、だ液等を触る)でうつります。うつってから発症するまでの潜伏期間は約5日、人にうつす感染期間は発症後約1週間です。

症状は、発熱、咳、鼻水、喘鳴(ゼーゼー、ひゅーひゅーの呼吸)です。年長児や成人では、軽いかぜ症状ですむ場合も多いですが、乳児早期(特に2か月以下の赤ちゃん)に感染した場合は、急性細気管支炎や肺炎となり、哺乳低下や呼吸困難で入院したり、さらには人工呼吸管理を要したりすることもあります(感染した乳幼児の約30人に1人は入院するという報告もあります)。

RSウイルス感染症専用の有効な治療法はなく、水分補給の点滴や酸素投与などの対症療法のみです。赤ちゃんがいる家庭では、かぜ症状のある方から赤ちゃんにうつさないようにマスク着用や手洗いを励行してください。赤ちゃんが、咳鼻水やゼーゼーで、ミルクの飲む量が減ってきたら、早めに小児科医院を受診しましょう。

この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の感染症情報提供サイトを御覧ください。

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/rs/010/rs-intro.html>



百日咳の流行は収まってきています(第 29週報告なし)

2025 年第6週(2/3～)以降、1週間に 1～2 人の百日咳患者が県内医療機関から報告されることが多くなっていましたが、第 14 週(3/31～4/6)に 5 人となり、第 15 週(4/7～13)は 21 人と急増しました。その後は第20週(5/12～18)までは20人前後が続いた後、第21週(5/19～25)に40人まで増えてからは毎週増加し、**第 28 週(7/7～14)は 84 人となり、全数把握感染症となった 2018 年以降の最高値を更新しました。**(それまでの過去最高値は、2025 年第26週(6/23～29)80 人です。)発生数は徐々に減少し、第 39 週(9/22～28)には 19 人まで減少しました。2025 年末から、減少傾向にあり、流行が収まってきました(第 29 週報告なし)。

コンコンという咳が連発してよる眠りにくい場合には、マスク可能な方は着用して、早めに受診しましょう。

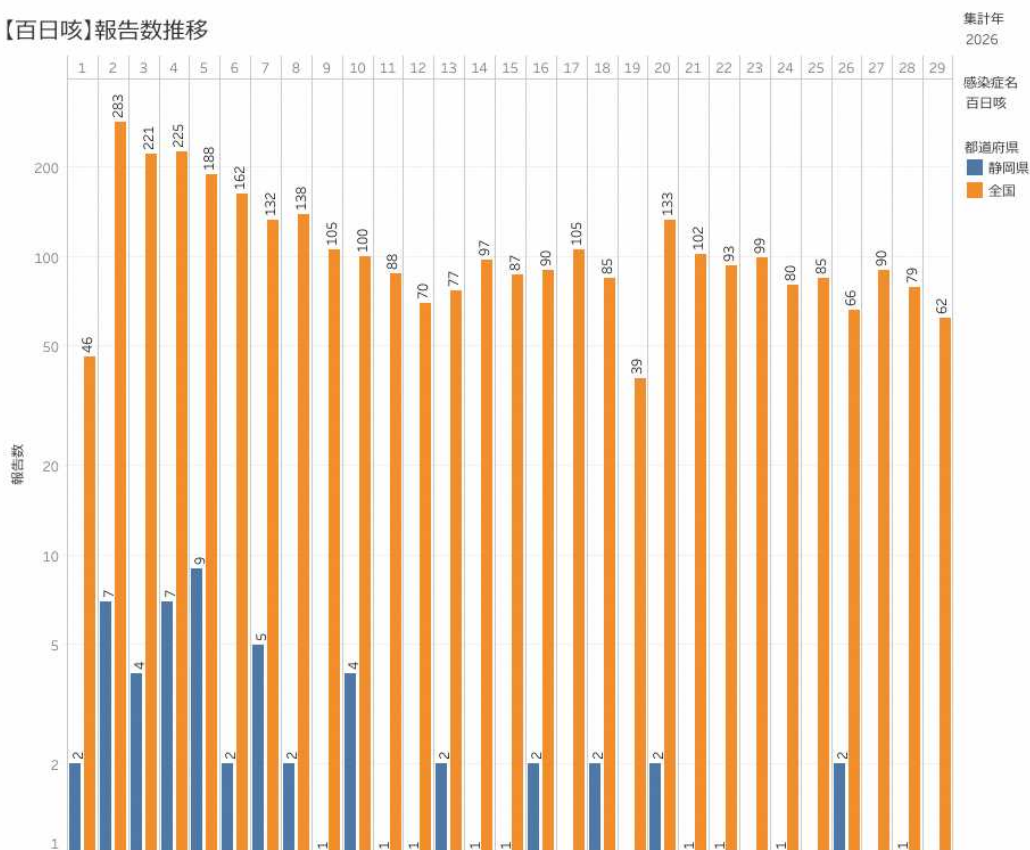
年齢分布では 10～14 歳が最多で、続いて5～9歳が多くなっています。百日咳を含むワクチンをまだ打っていない赤ちゃんがいる家庭で、兄弟が咳症状がある場合には赤ちゃんに近づかないようにしてください。

なお、生後6か月以下の赤ちゃんが百日咳にかかると呼吸がしにくくなるなど重症になる場合がありますので、2か月になったらすぐに5種混合ワクチン(百日咳ワクチンを含んでいます)を接種しましょう。また、咳のひどい人は赤ちゃんの世話を避けることも大切です。

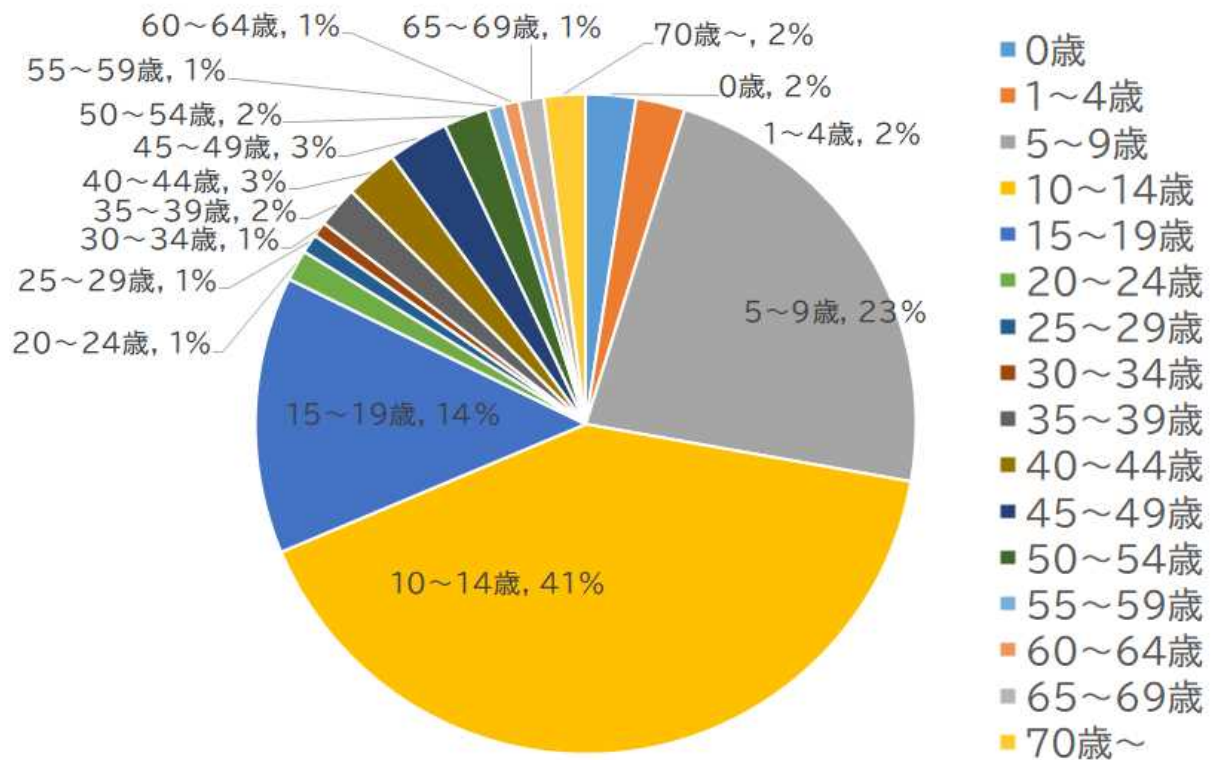
この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の感染症情報提供サイトを御覧ください。

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/010/>

【百日咳】報告数推移



年齢分布(2025年～2026年 累計1,915人)



◆全数届出の感染症

感染症分類	感染症名	保健所名	報告数
2類感染症	結核	東部	1
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	御殿場	3
5類感染症	急性脳炎（リステル菌脳炎、日本脳炎等を除く）	静岡市	1
	梅毒	富士	1
		静岡市	3
		浜松市	4

保健所別の警報状況

警 報 咽頭結膜熱（御殿場）

手足口病（熱海、東部、御殿場、富士、静岡市、中部、西部、浜松市）

注意報 なし

警報・注意報・流行期入りの目安（新型コロナウイルス感染症以外）

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前：今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後：流行が継続していると疑われる
流行入りの目安（インフルエンザのみ）	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	－
感染性胃腸炎	20.0	12.0	－
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	－
伝染性紅斑	2.0	1.0	－
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	－
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

警報・注意報の目安（新型コロナウイルス感染症）

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口10万人当たり400人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

新型コロナウイルス感染症（県独自）			
保健所名	注意報基準値	警報基準値	
賀茂	13.0	26.0	
熱海	9.0	18.0	
東部	8.0	16.0	
御殿場	17.0	34.0	
富士	11.0	22.0	
県東部地域	10.0	20.0	
静岡市	6.0	12.0	
中部	8.0	16.0	
県中部地域	7.0	14.0	
西部	10.0	20.0	
浜松市	7.0	14.0	
県西部地域	8.0	16.0	
県全体	8.0	16.0	

感染症発生動向調査

令和8年第29週(7/13～7/19)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値（開始基準値）以上で開始し、別の基準値（終息基準値）未滿で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

【五類感染症(定点把握)の追加:急性呼吸器感染症(ARI)】

将来的なパンデミックに備え、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等、すでに感染症発生動向調査の対象疾病となっている感染症以外が原因となる急性呼吸器感染症の発生傾向や発生水準を把握する目的で、急性呼吸器感染症(ARI)が、五類定点把握感染症に追加されることとなりました。(令和6年11月29日 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則改正 令和7年4月7日施行)

令和7年第15週から急性呼吸器感染症(ARI)も報告の対象となっています。

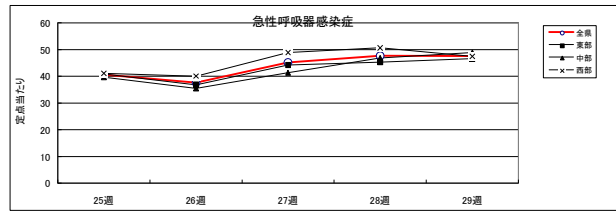
疾病	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

第29週(7/13～7/19)の感染症発生動向調査では、手足口病の定点当たり報告数は、9.02人となり前週の10.38人から減少しましたが、引き続き警報レベルの開始基準値5を超えています。急性呼吸器感染症(ARI)は、47.56人となり前週の47.69人から減少しました。新型コロナは、2.58人となり前週の1.82人から増加しました。ヘルパンギーナは、2.26人となり前週の2.64人から減少しました。

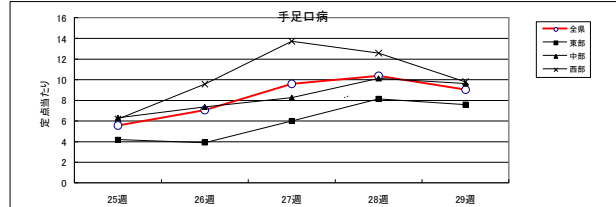
【急性呼吸器感染症】

全県で罹患数5,137、定点当たり47.56の患者発生があり、前週の47.69から減少した。定点当たり東部地区で46.58、中部地区で48.93、西部地区で47.48の患者が発生した。



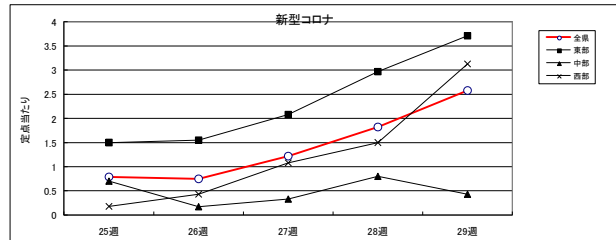
【手足口病】

全県で罹患数595、定点当たり9.02の患者発生があり、前週の10.38から減少した。定点当たり東部地区で7.59、中部地区で9.63、西部地区で9.80の患者が発生した。



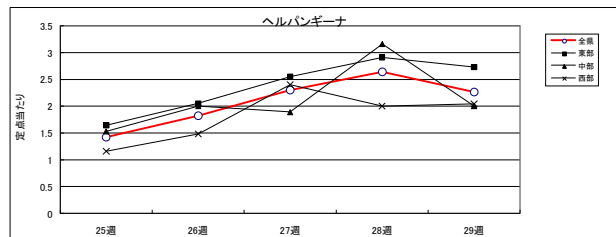
【新型コロナ】

全県で罹患数279、定点当たり2.58の患者発生があり、前週の1.82から増加した。定点当たり東部地区で3.71、中部地区で0.43、西部地区で3.13の患者が発生した。



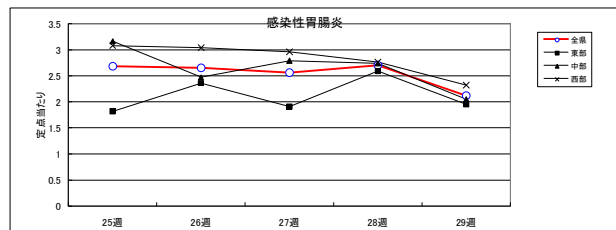
【ヘルパンギーナ】

全県で罹患数149、定点当たり2.26の患者発生があり、前週の2.64から減少した。定点当たり東部地区で2.73、中部地区で2.00、西部地区で2.04の患者が発生した。



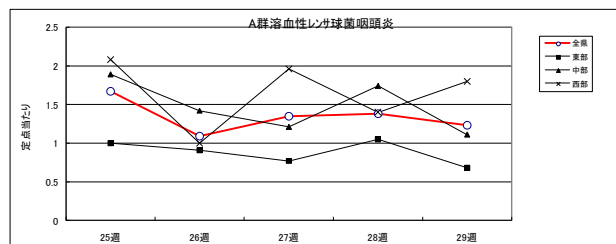
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数140、定点当たり2.12の患者発生があり、前週の2.70から減少した。定点当たり東部地区で1.95、中部地区で2.05、西部地区で2.32の患者が発生した。



【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

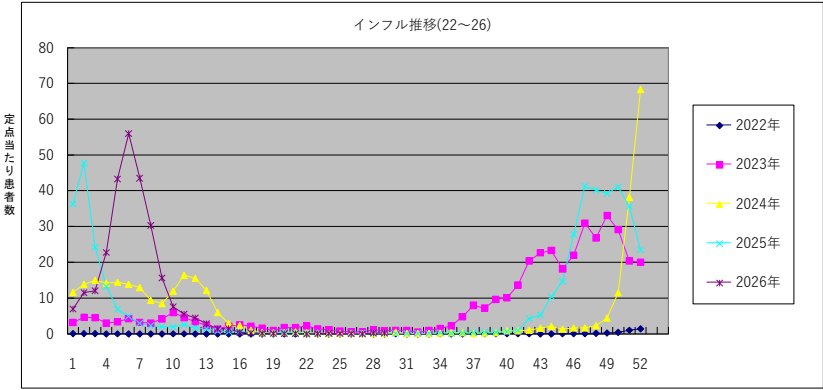
全県で罹患数81、定点当たり1.23の患者発生があり、前週の1.38から減少した。定点当たり東部地区で0.68、中部地区で1.11、西部地区で1.80の患者が発生した。



【その他】

- ・麻疹、風疹は患者発生なし。
- ・全国のインフルエンザの定点当たりの患者報告数は0.20であり、前週の0.13から増加した。警報レベル及び注意報レベルの保健所を有する都道府県は0であった。
- ・全国の新型コロナの定点当たりの患者報告数は2.12で前週の1.87から増加した。
- ・静岡県において第29週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)急性呼吸器感染症 (47.56)、2)手足口病 (9.02)、3)新型コロナ(2.58)、4)ヘルパンギーナ (2.26)、5)感染性胃腸炎 (2.12)、6) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (1.23)であった。

【インフルエンザ罹患数推移】

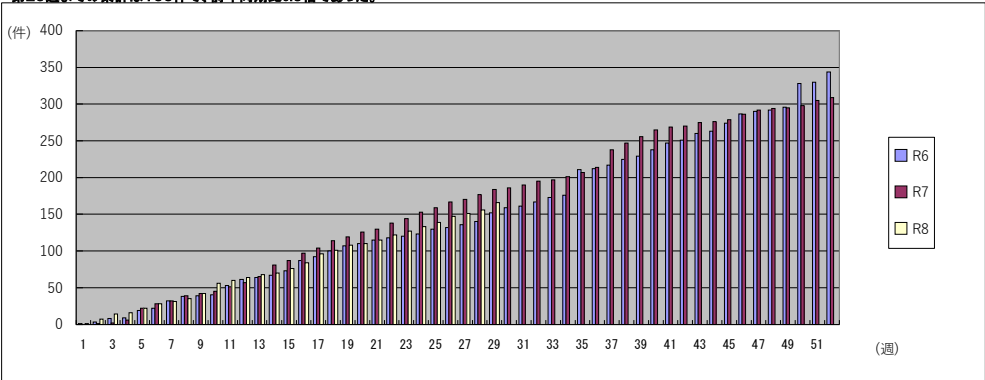


【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2025/2026シーズン)】 (令和7年第36週～)

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R7年 第36週～第41週	静岡県	2			2
	静岡市				
	浜松市				
R7年 第42週～第45週	静岡県		13		2
	静岡市	1	2		
	浜松市	1	1		
R7年 第48週～第50週	静岡県		9		
	静岡市		4		
	浜松市		20		
R7年 第51週～第3週	静岡県	1	8		
	静岡市		6		
	浜松市		8		1
R8年 第4週～第8週	静岡県				3
	静岡市				3
	浜松市				5
R8年 第9週～第13週	静岡県				2
	静岡市				2
	浜松市				4
R8年 第14週～第18週	静岡県				
	静岡市				1
	浜松市				1
R8年 第19週～第23週	静岡県				
	静岡市				
	浜松市				
R8年 第24週～第28週	静岡県				
	静岡市				
	浜松市				
R8年 第29週	静岡県				
	静岡市				
	浜松市				
合 計		5	71	0	26

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・第29週までの累計は166件で、前年同期比0.9倍であった。



急性呼吸器感染症（ARI）について

急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスは、症例定義に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

平時から、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、県民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が5類感染症となりました。

症例定義

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ異常の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

詳細データは下記URL先を参照してください

（感染症発生状況見える化ダッシュボード）

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/1065883/1073975.html>



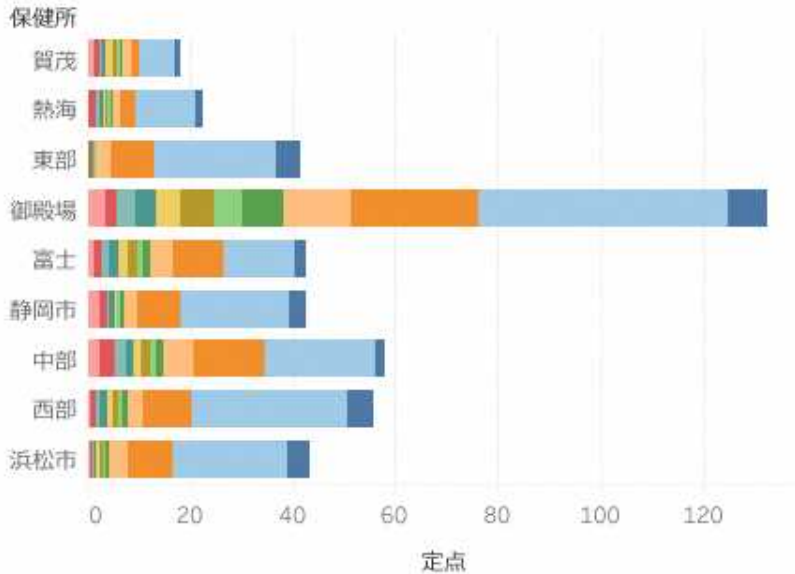
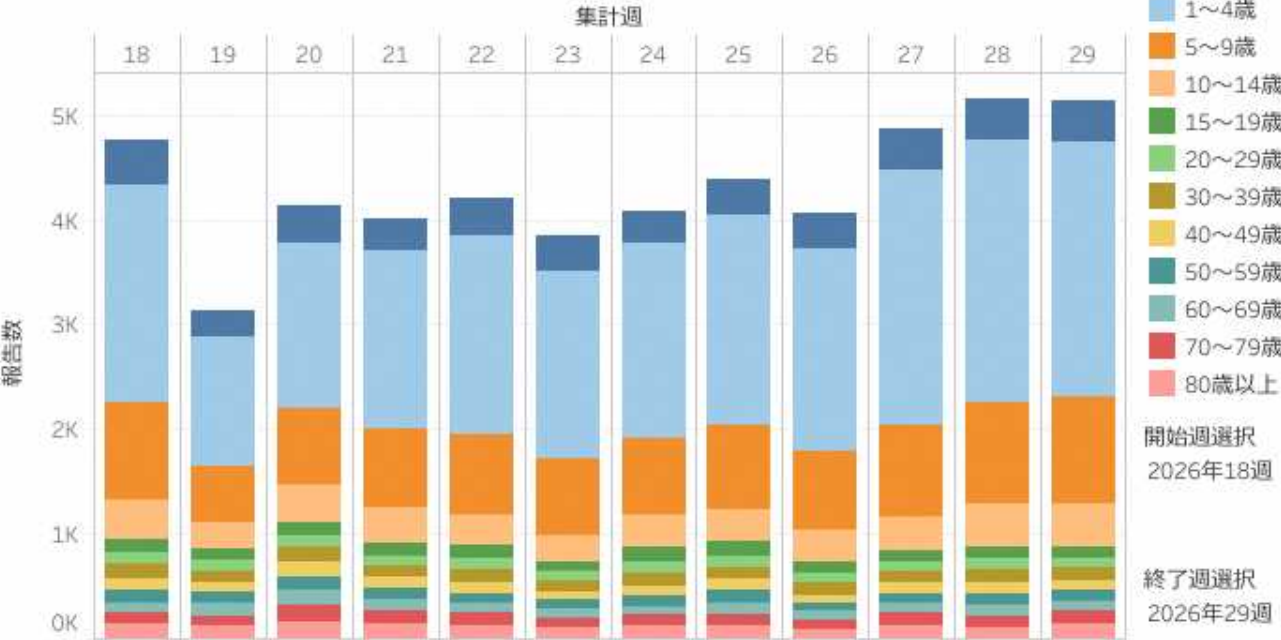
急性呼吸器感染症（ARI）の感染状況について

年週選択 2026年 第29週

保健所別感染状況

保健所	報告数	定点
賀茂	55	18.33
熱海	135	22.50
東部	667	41.69
御殿場	530	132.50
富士	383	42.56
静岡市	770	42.78
中部	698	58.17
西部	727	55.92
浜松市	1,172	43.41
保健所	報告数	定点
静岡県	5,137	47.56
全国	193,016	51.89

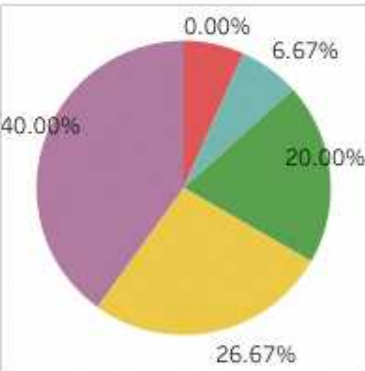
年齢構成別報告数（県全体）



病原体定点から提出された検体の検査結果について

直近12週間の検体数

病原体20歳以上



病原体20歳未満



麻疹(はしか)って、どんな感染症？

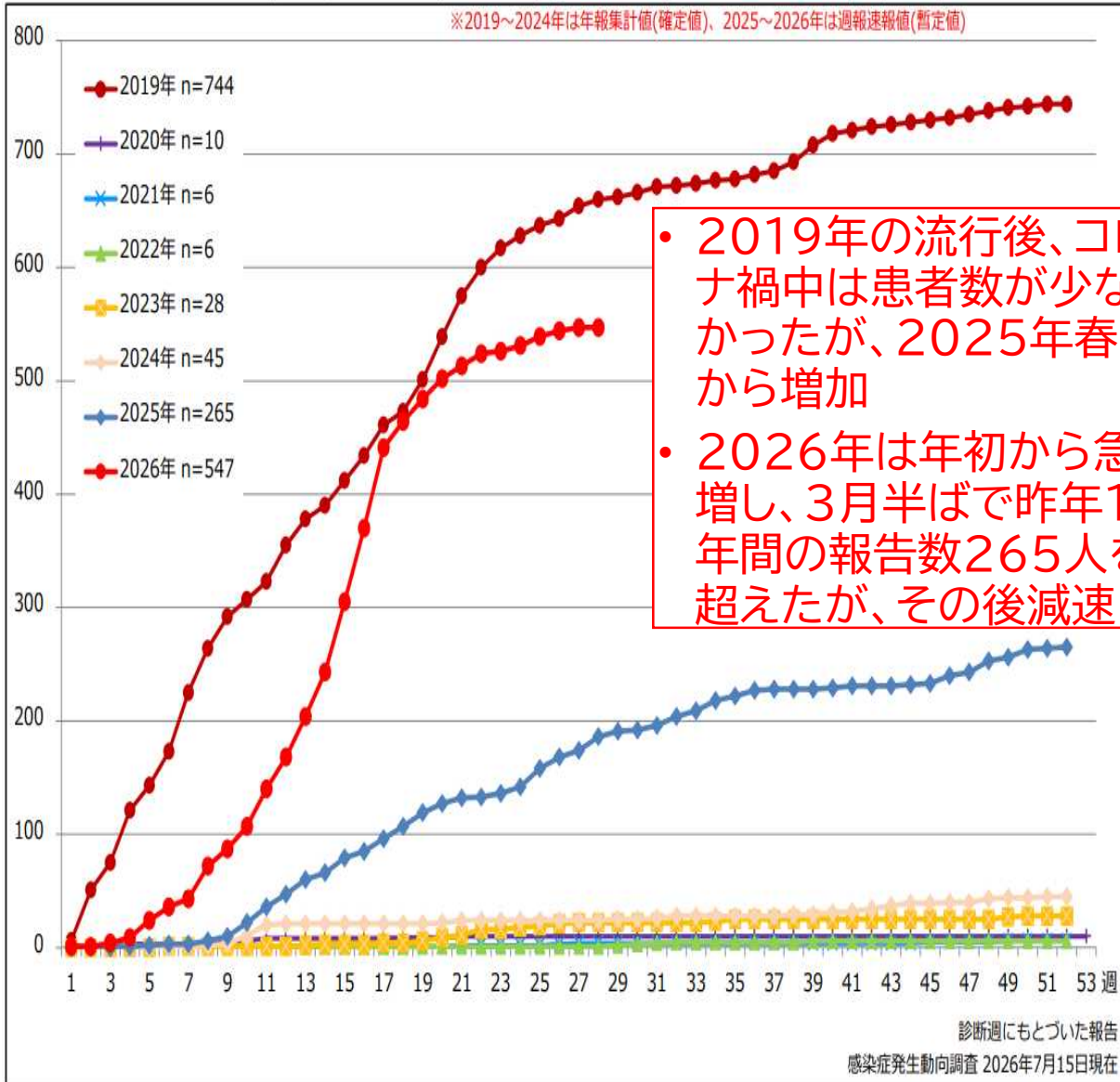
- **感染力最強ウイルス**で、感染者1人から未感染者約15人に感染し(コロナの5倍)、ほぼ全員が発症
- **空気感染**するので、同じ室内にいただけで感染
- **治療薬は無し**(抗麻疹ウイルス薬なし)
- **ワクチン2回接種**の人は感染しないか、感染しても軽症
- ワクチン未接種患者の**数100人に1人は死亡**
- 未接種者の症状は高熱・咳鼻水・目の充血⇒赤いヒョウ柄発疹が顔から全身へ、**消耗が激しく多くの患者が入院**
- 合併症は、**中耳炎(7%)、肺炎(6%)、脳炎(0.1%)**等

麻疹の詳細は、JIHS(国立健康危機管理研究機構)の感染症情報提供サイトへ
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ma/measles/010/measles.html>

麻疹 今年の国内発生状況①(国立健康危機管理研究機構のサイトより)

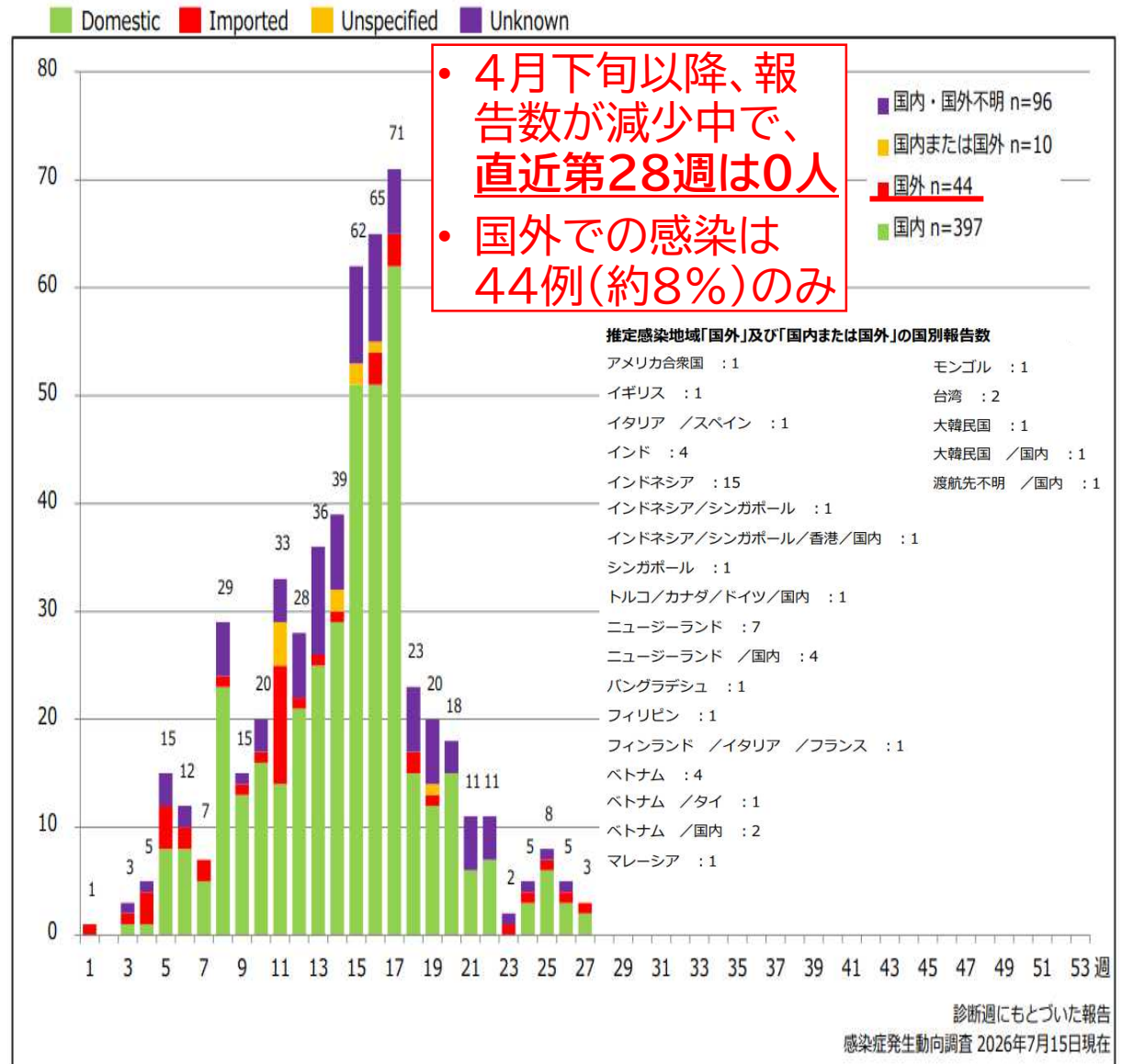
1. 麻疹累積報告数の推移 2019~2026年 (第1~28週) (2026年は7月12日まで)

Cumulative measles cases by week, 2019-2026 (week 1-28) (based on diagnosed week as of July 15, 2026)



8. 週別推定感染地域(国内・外)別麻疹報告数 2026年 第1~28週 (n=547)(2025年12月29日~26年7月12日)

Weekly measles cases by acquired region, week 1-28, 2026 (based on diagnosed week as of July 15, 2026)

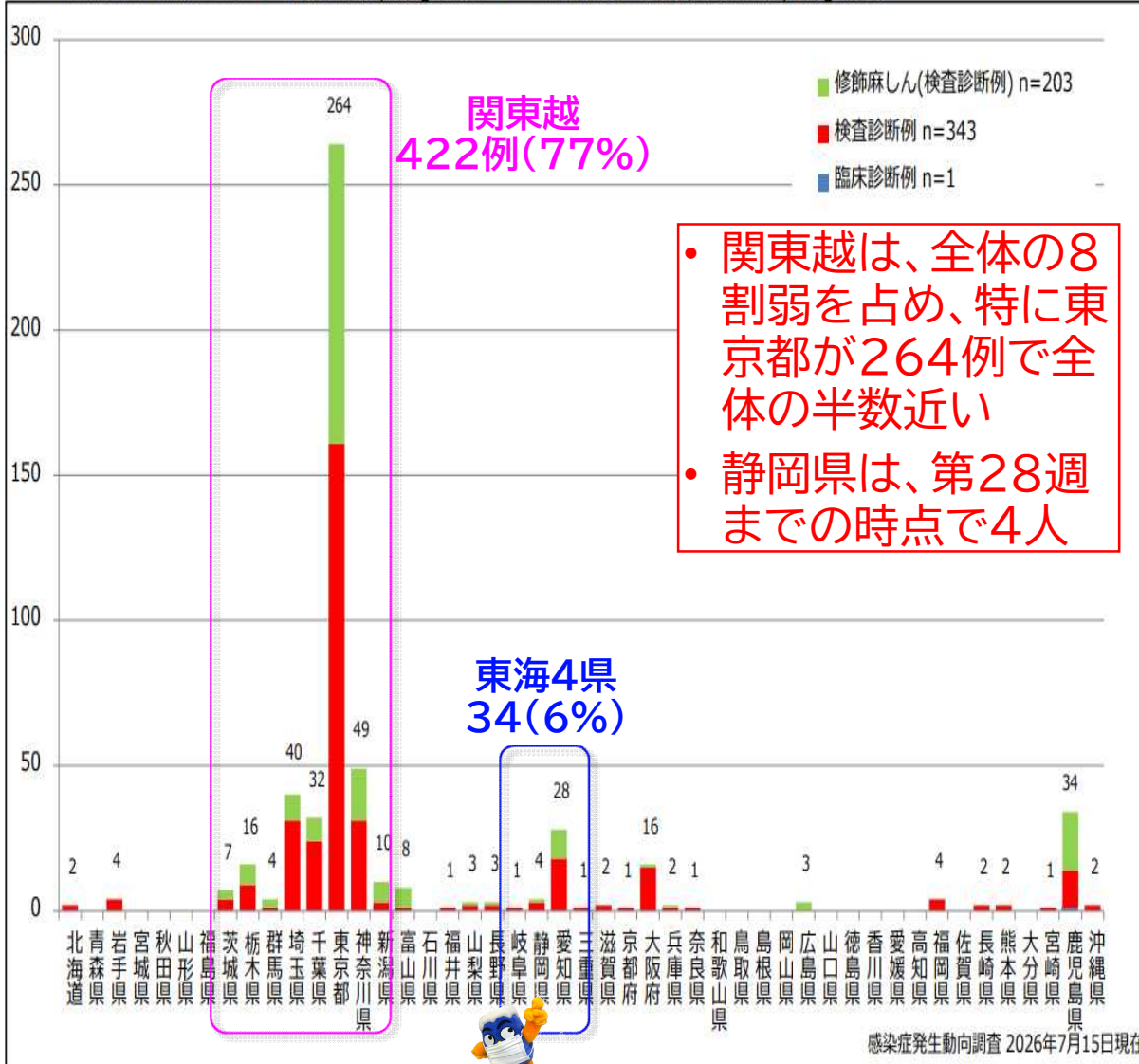


麻疹 今年の国内発生状況②(国立健康危機管理研究機構のサイトより)

4. 都道府県別病型別麻疹累積報告数 2026年 第1~28週 (n=547) (2025年12月29日~26年7月12日)

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-28, 2026 (as of July 15, 2026)

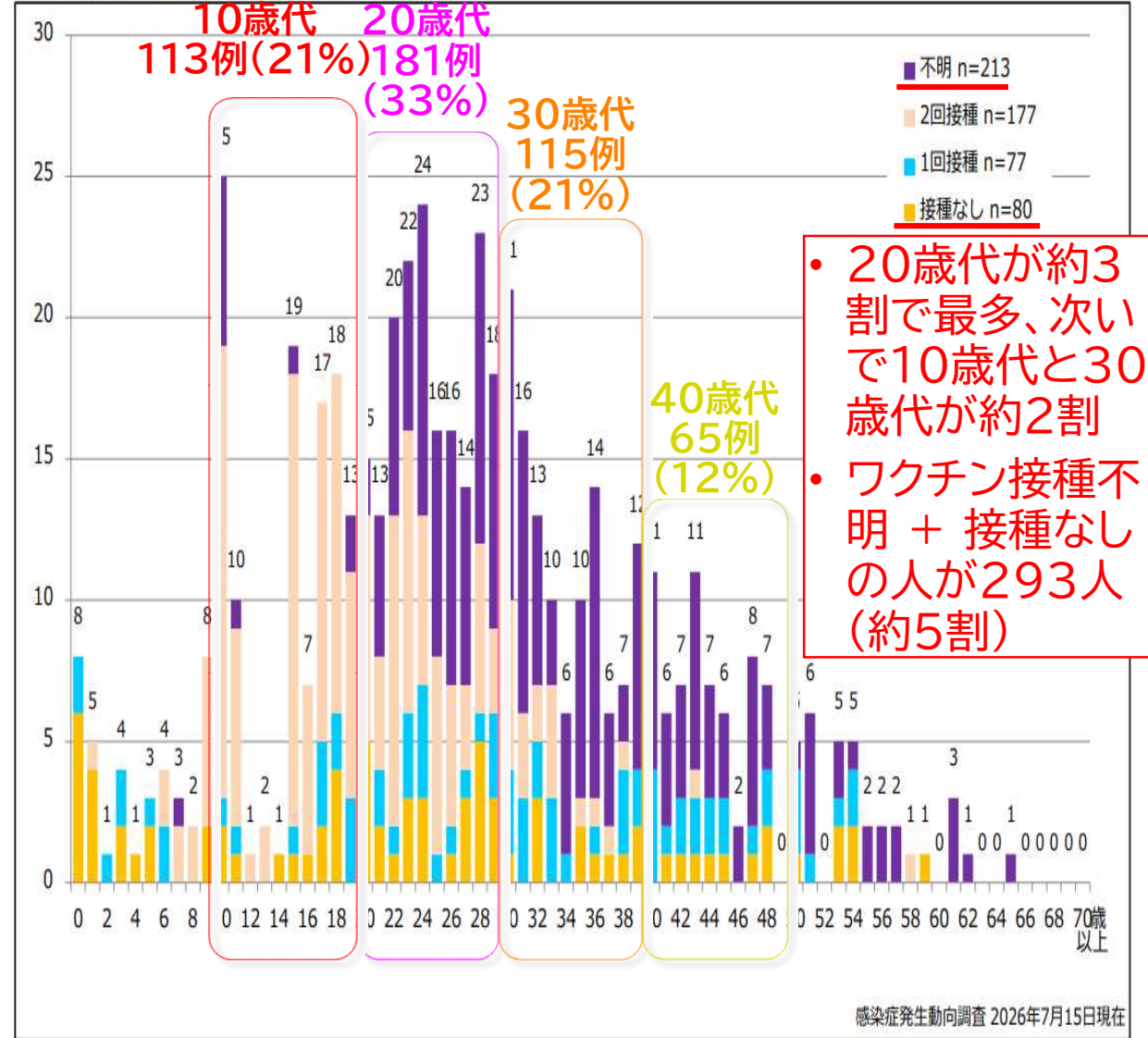
■ Clinically diagnosed ■ Laboratory diagnosed ■ Modified measles, Laboratory diagnosed



6. 年齢群別接種歴別麻疹累積報告数 2026年 第1~28週 (n=547) (2025年12月29日~26年7月12日)

Cumulative measles cases by age and vaccinated status, week 1-28, 2026 (as of July 15, 2026)

■ None ■ MCV1 ■ MCV2 ■ Unknown



- 1歳の誕生日がきたら、麻疹風疹混合(MR)ワクチンをすぐにうつ！
- 5歳(年長さんの学年)でのMRワクチン2期の接種率が下がっており、忘れずにうつ！
- 麻疹未感染の50歳代半ば以下の方は、母子手帳で自分の麻疹ワクチン接種回数を確認し、0回と1回の方は接種(自費)の検討を！

静岡県民 年齢別の麻疹抗体価の分布 (2025年7～9月の血液検査)

麻疹患者と
接した場合に
どうなる可
能性が高いか

■ 抗体価4以上

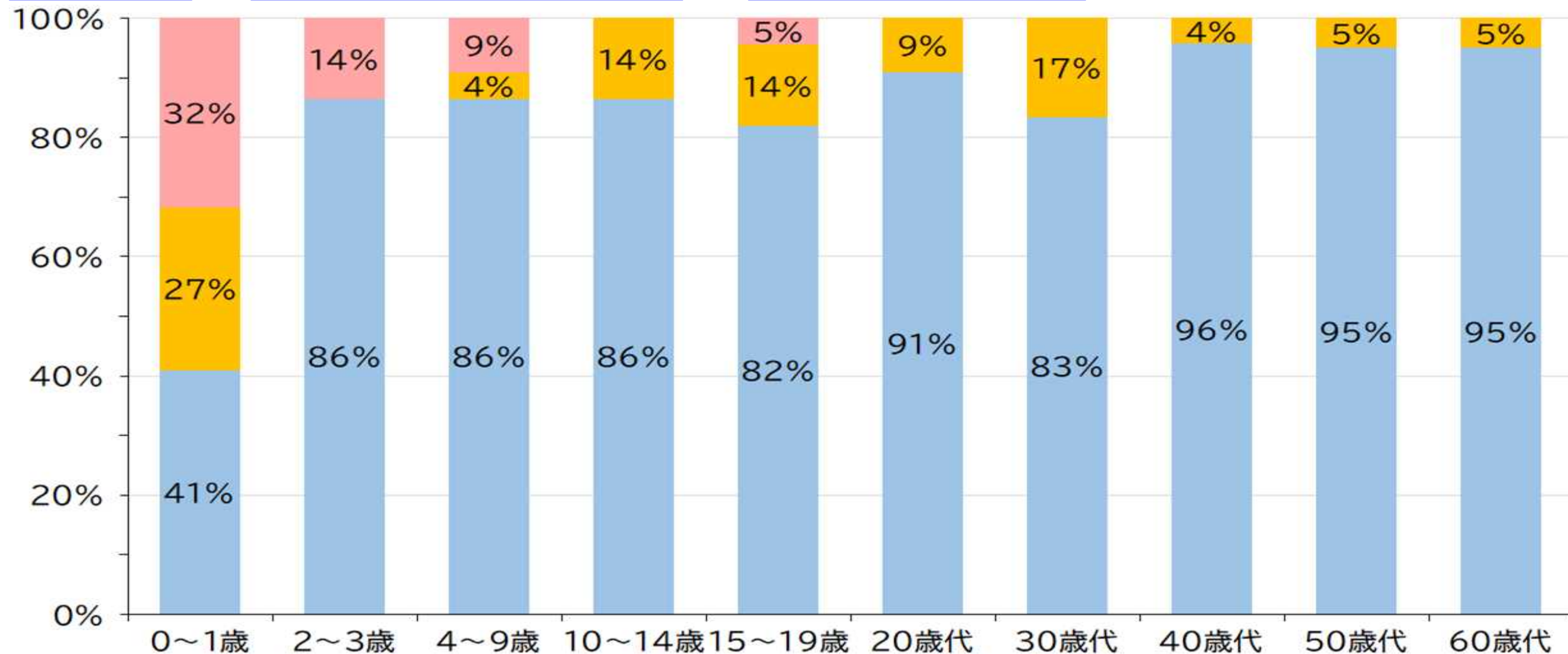
麻疹を発症しない、または
発症しても軽症(修飾麻疹)

■ 抗体価2～3.9

修飾麻疹、または
典型的な麻疹を発症

■ 抗体価2未満

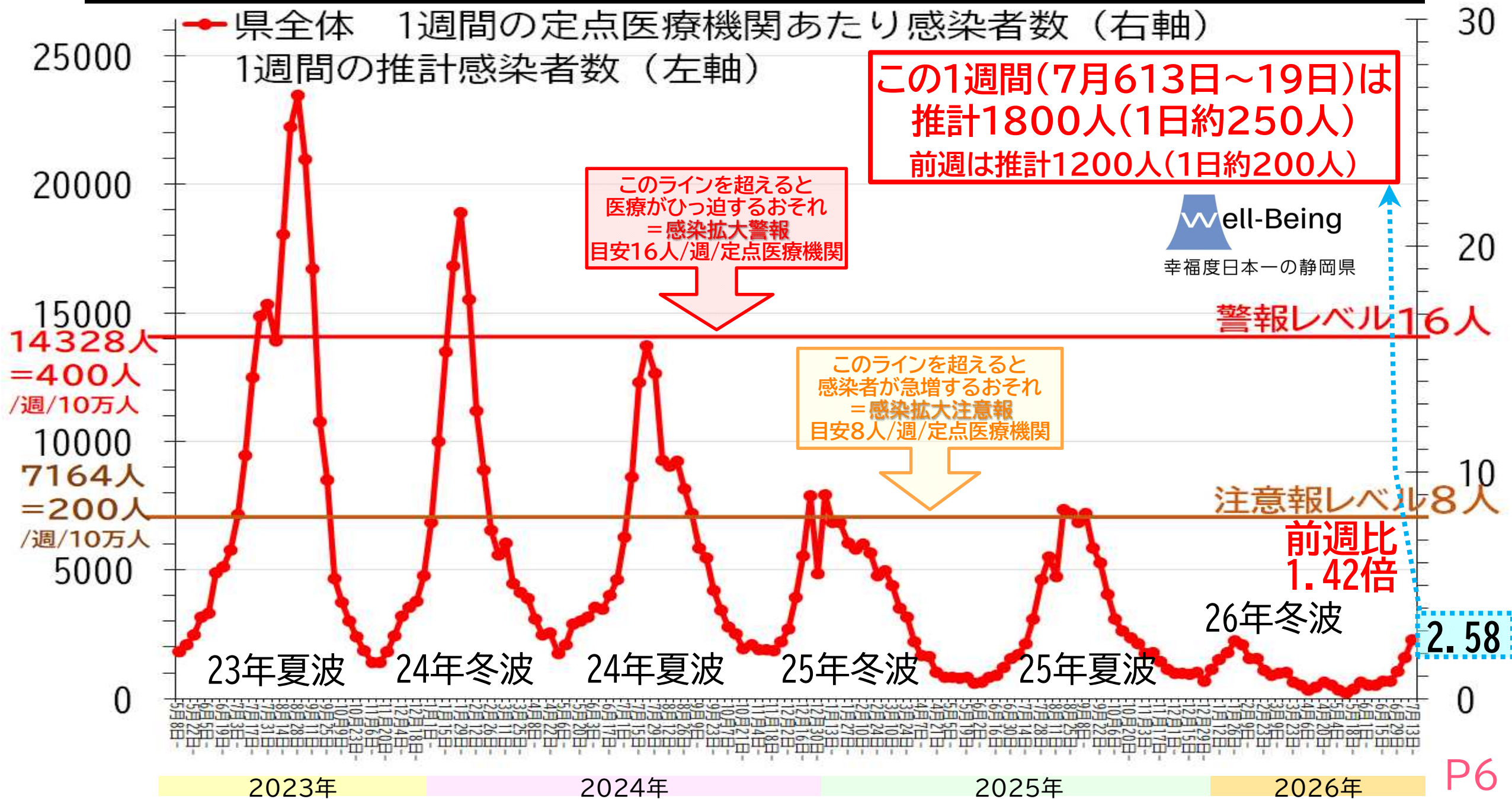
典型的な麻疹を発症



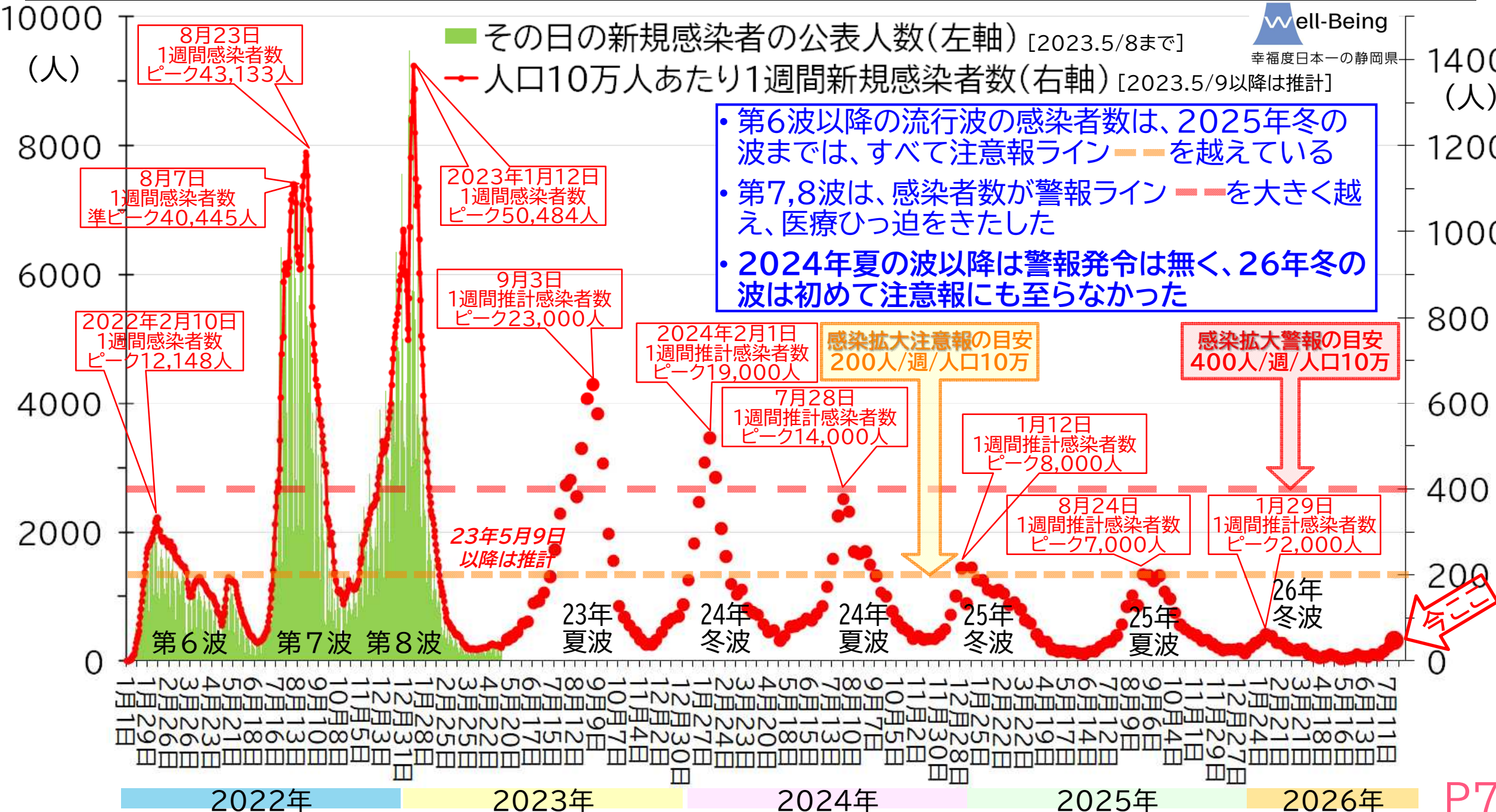
※ 各年齢グループの人数は22～24人

(静岡県環境衛生科学研究所による流行予測調査のデータより)

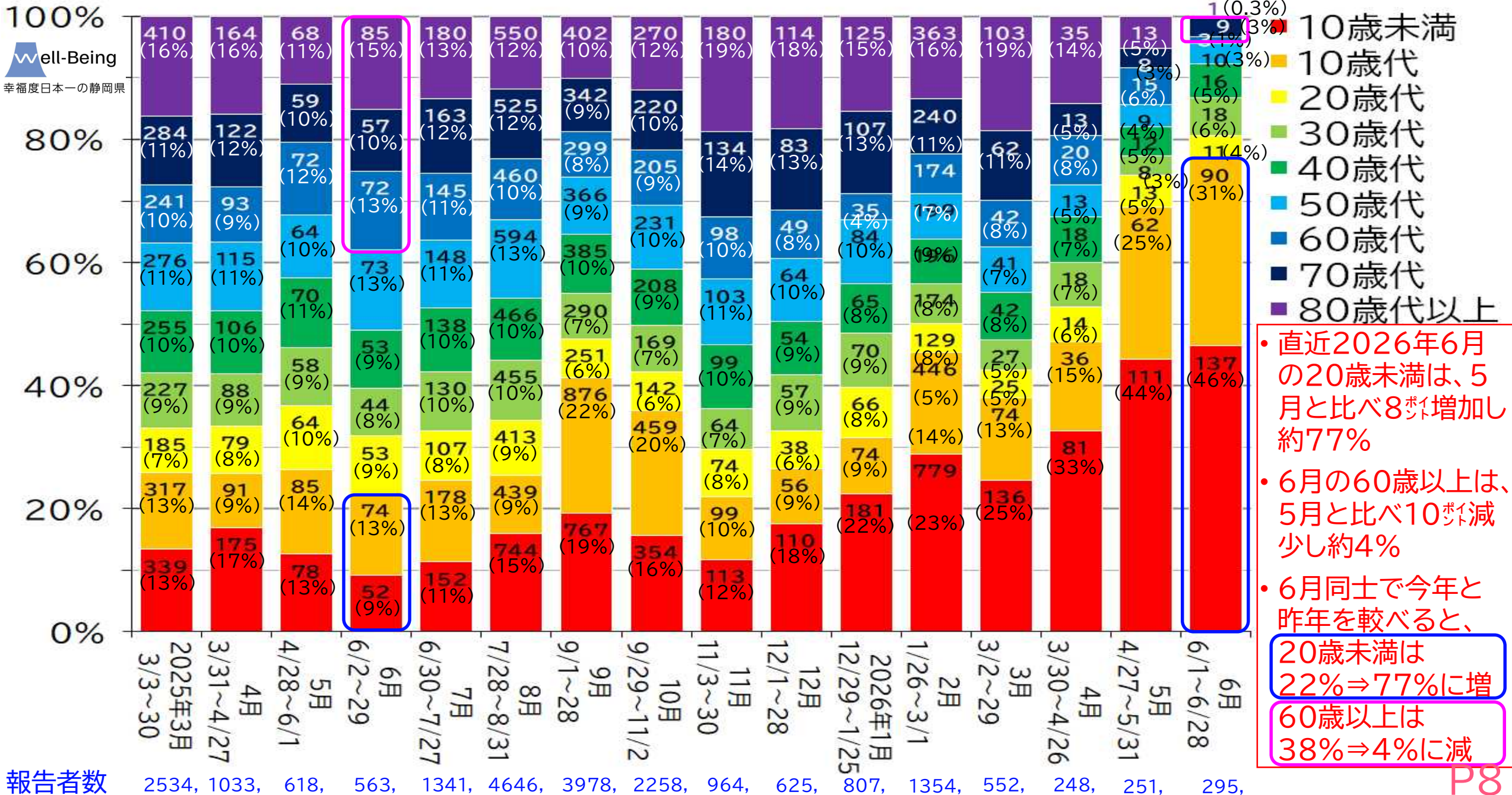
静岡県 新型コロナ 1週間感染者数(2023.5/8~2026.7/19)



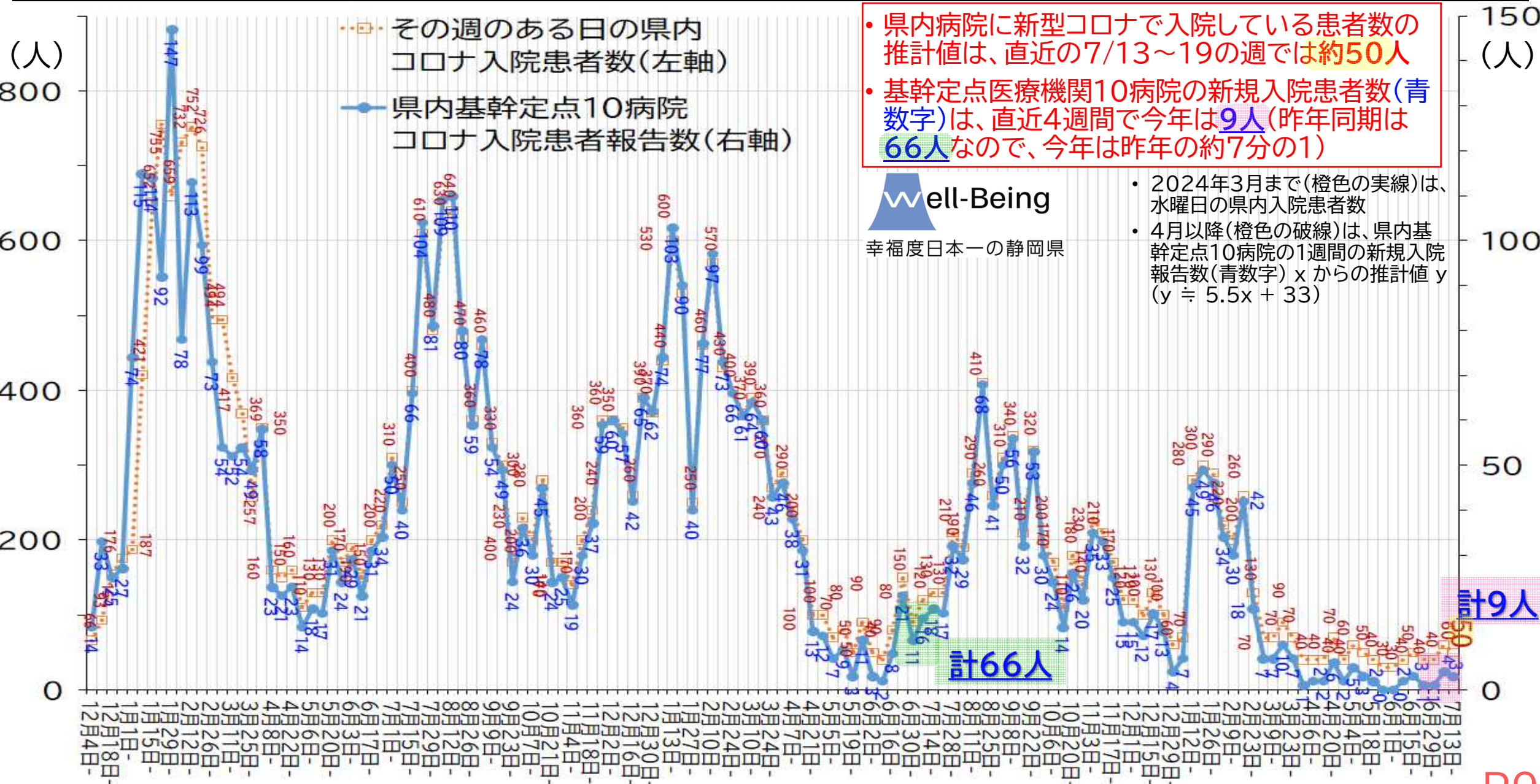
静岡県 新型コロナ オミクロン株以降の感染者数の推移 (2022.1/1~2026.7/19)



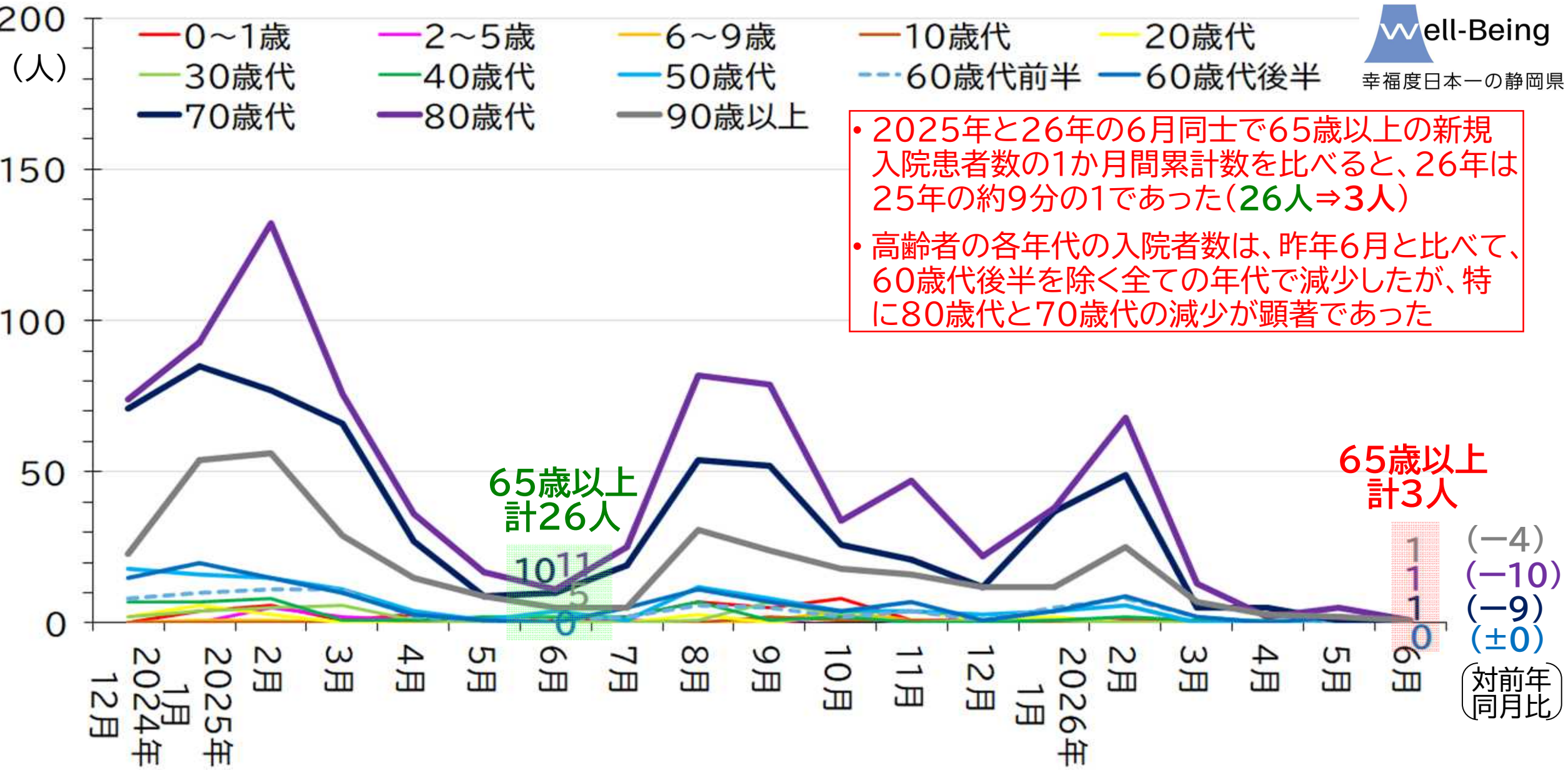
静岡県 新型コロナ 定点医療機関からの報告者数の年代別推移(2025. 3/3～2026. 6/28)



静岡県 新型コロナ入院患者数 おおまかな推計値 (2024.4/1~2026.7/19)

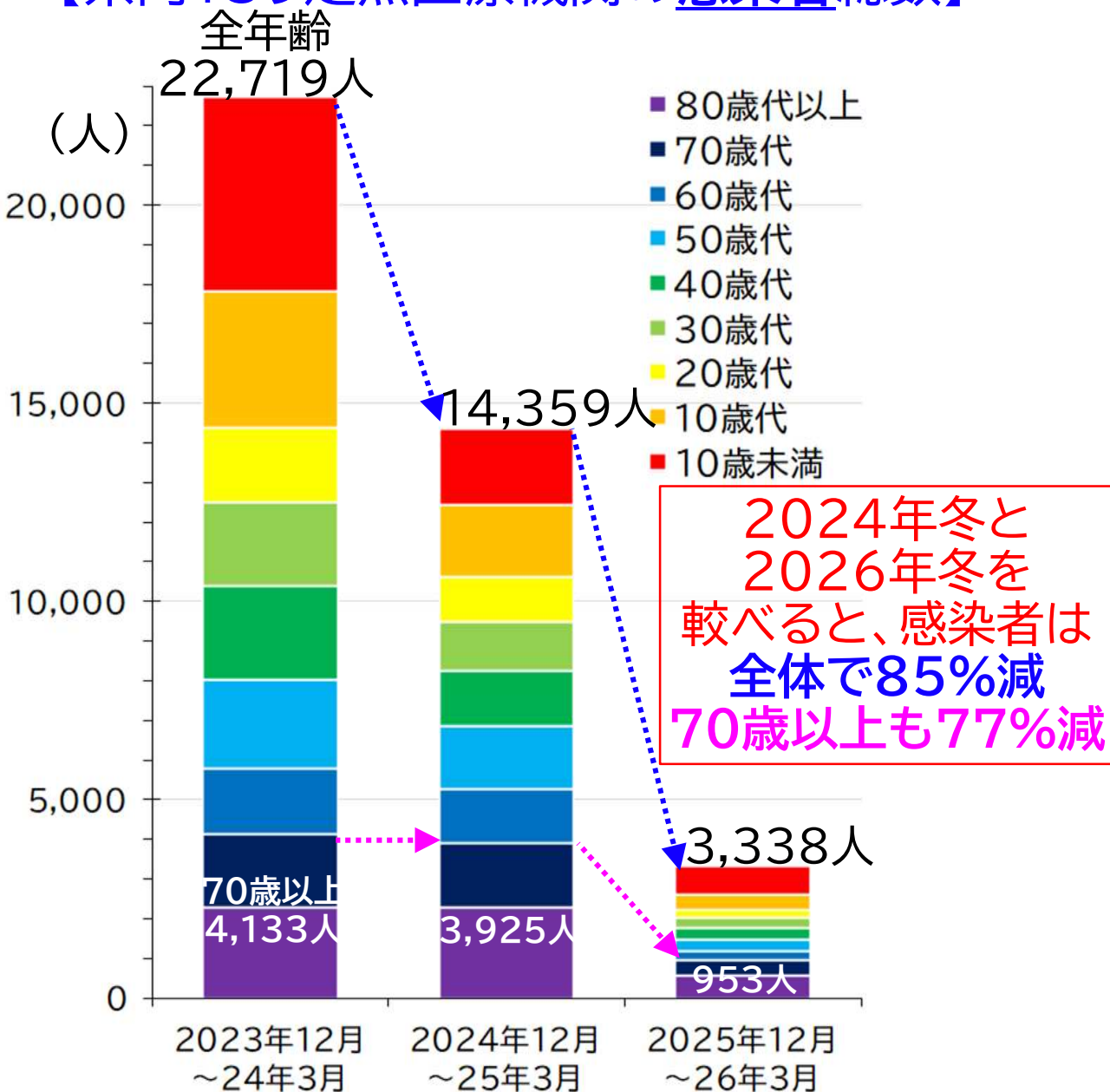


静岡県 基幹定点医療機関(10病院)のコロナ年代別新規入院患者数の推移(2024.12月～2026.6月)

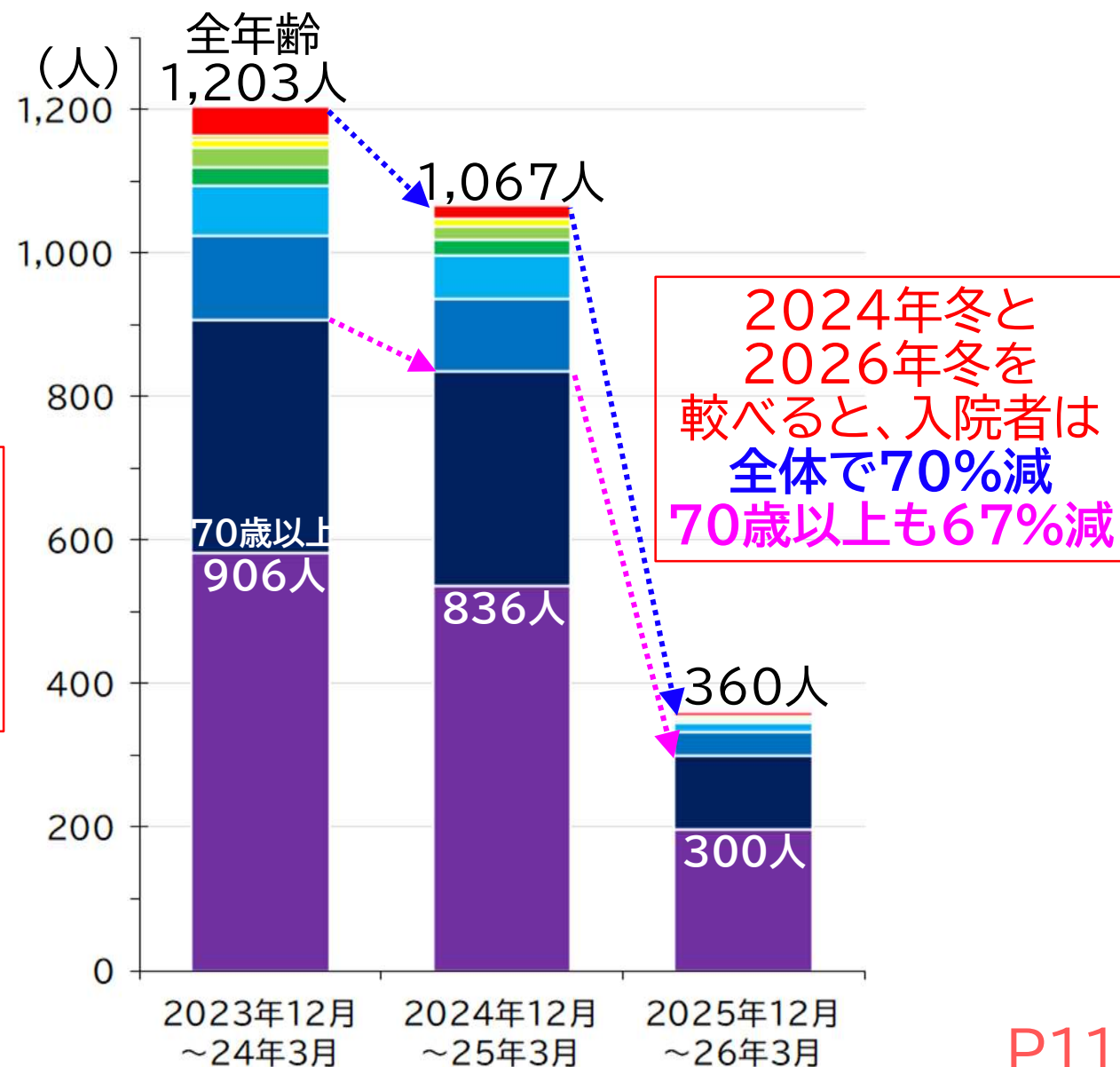


静岡県 新型コロナ 定点医療機関 2024～26年の冬の感染者数・入院者数の比較

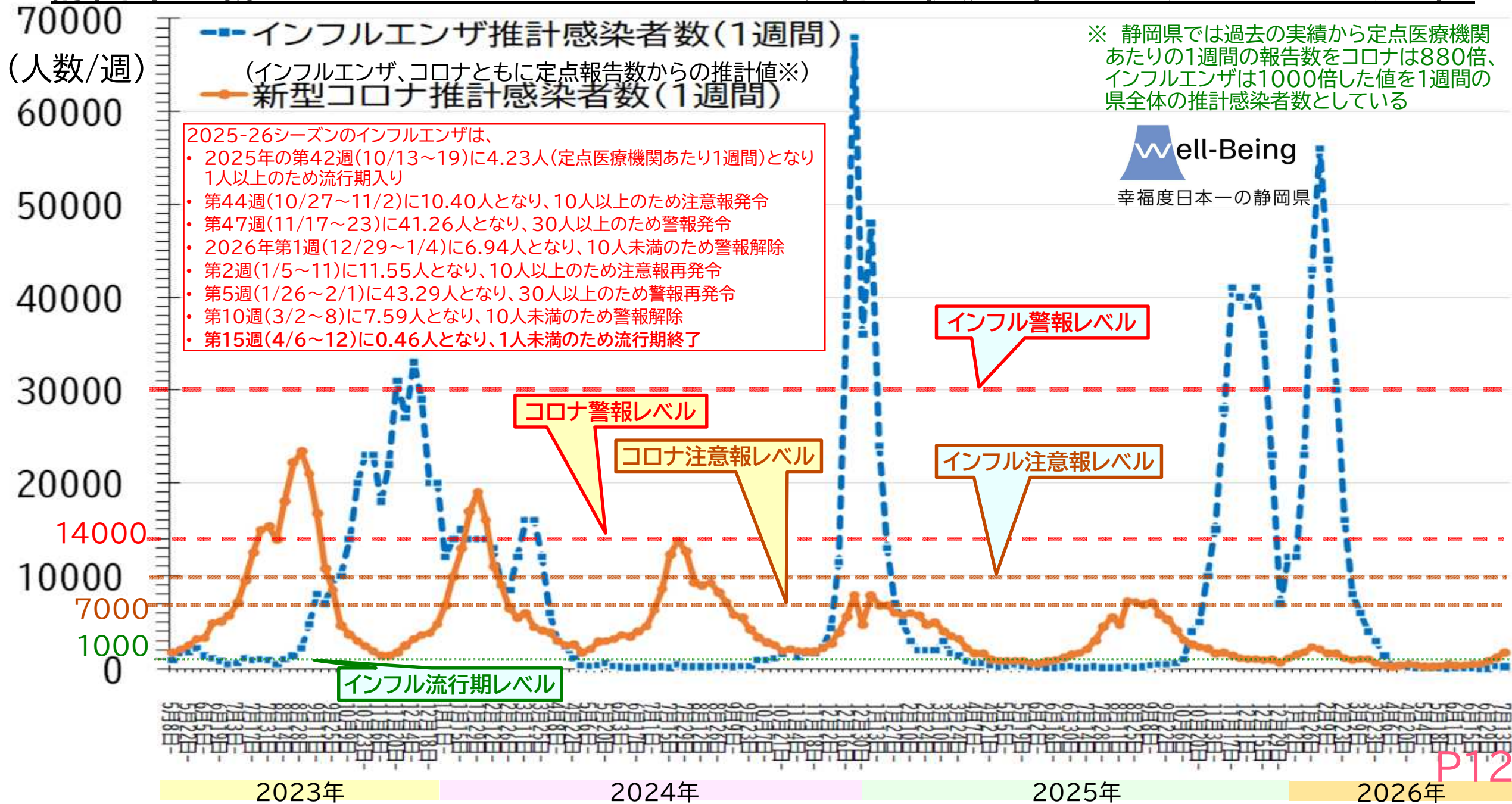
【県内139定点医療機関の感染者総数】



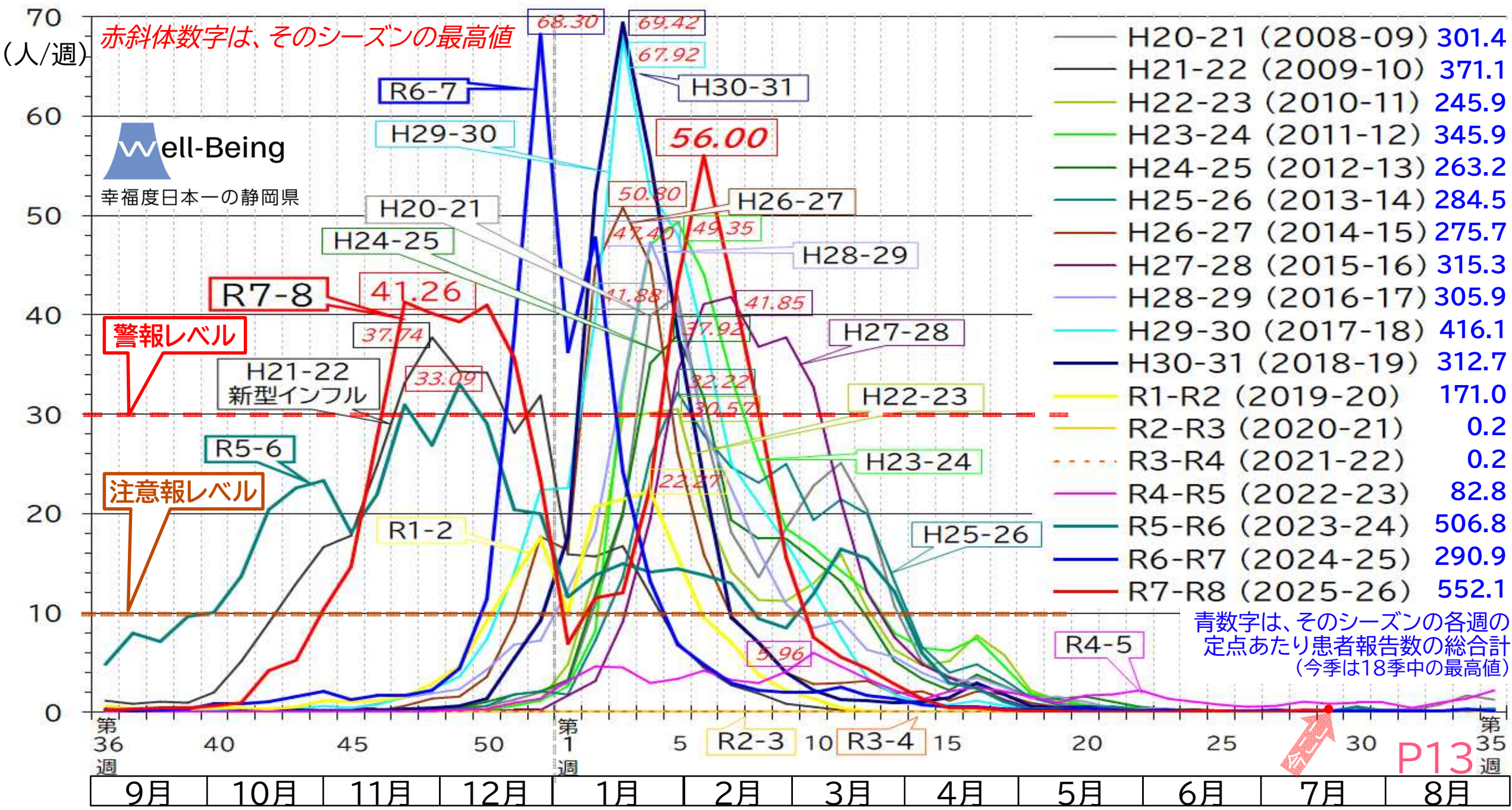
【県内10基幹定点病院の入院者総数】



静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2023.5/8~2026.7/19)



静岡県 インフルエンザ 定点医療機関からの患者報告数 今季と過去17季の比較



急病センターや**当番医**を受診



しよつか迷ったら...



救急車を呼ぼうか迷ったら...

15歳以上は **#7 1 1 9**

15歳未満は **#8 0 0 0 0**



で電話相談を!

感染症発生動向調査における特記事項欄コメント

第 29 週 令和8年7月13日 ～ 令和8年7月19日

今週の特記事項欄コメントの報告数上位

1	新型コロナウイルス感染症	62名
2	手足口病	33名
3	ヒトメタニューモ	29名

保健所	医療機関名	感染症名	報告数	備考
賀茂	かわづクリニック	帯状疱疹	1	37歳男性
熱海	高野医院	新型コロナウイルス感染症	3	
熱海	高野医院	急性呼吸器感染症	21	
熱海	むらかみ小児科クリニック	マイコプラズマ肺炎	3	10歳男児、6歳男児、1歳男児
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	RSウイルス感染症	3	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	新型コロナウイルス感染症	23	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	ヒトメタニューモ	1	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	マイコプラズマ	3	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	咽頭結膜熱	4	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	感染性胃腸炎	7	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	手足口病	33	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	新型コロナウイルス感染症	36	
御殿場	安田内科小児科医院	インフルエンザB型	1	
静岡市	こどもクリニックみなと	ヒトメタニューモ	1	1歳男
浜松市	クリニック・パパ	ヒトメタニューモ	24	
浜松市	幸田子供クリニック	ヒトメタニューモ	3	
浜松市	くまがいクリニック	インフルエンザA型	2	

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

(「静岡県 感染症週報」で検索)

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>



第 29 週

疾患名	区分	静岡県							全国				
		第 24 週	第 25 週	第 26 週	第 27 週	第 28 週	今週	年累計	第 26 週	第 27 週	第 28 週	今週	年累計
エボラ出血熱	1 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クリミア・コンゴ出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
痘そう		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南米出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペスト		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マールブルグ病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ラッサ熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性灰白髄炎	2 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結核		6	6	3	7	5	1	183	213	232	247	244	8015
ジフテリア		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症急性呼吸器症候群 (SARS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中東呼吸器症候群 (MERS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ (H5N1)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ (H7N9)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コレラ	3 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性赤痢		0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	42
腸管出血性大腸菌感染症		3	2	5	2	1	3	33	123	99	83	126	1689
腸チフス		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	21
パラチフス		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	11
E型肝炎		1	0	0	0	0	0	4	8	14	12	11	390
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎含む)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A型肝炎	4 類	0	0	0	0	0	0	3	9	11	13	8	166
エキノコックス症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
エムボックス		0	0	0	0	0	0	0	5	4	2	3	83
黄熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オウム病		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4
オムスタ出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回帰熱		0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
キャサスル森林病	5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
狂犬病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コクシジオイデス症		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5
ジカウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)		0	0	1	0	1	0	7	7	6	8	6	110
腎臓後性出血熱 (HFRS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西部ウマ脳炎	5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダニ媒介脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
炭疽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
テングニア熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
つつが虫病		0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	61
デング熱		0	0	0	0	1	0	1	2	2	3	2	46
東部ウマ脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ (H5N1 及び H7N9 を除く)	5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニパウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本紅斑熱		0	0	0	0	0	0	2	21	11	16	9	234
日本脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ハンタウイルス肺症候群 (HPS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Bウイルス病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鼻疽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブルセラ症	5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペネズエラウマ脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘンドラウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
強しんチフス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア		0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	1	24
野兔病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ライム病	5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
リッサウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リフトバレー熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
類鼻疽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
レジオネラ症		1	2	1	7	6	0	52	51	83	141	83	1307
レプトスピラ症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
ロッキー山紅斑熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アメーバ赤痢	5 類	0	0	0	1	1	0	10	4	4	7	4	277
ウイルス性肝炎		0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	3	119
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		0	0	2	0	0	0	12	17	17	15	15	551
急性弛緩性麻痺		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	13
急性脳炎		0	1	0	0	0	1	7	4	7	5	4	270
クリプトスポリジウム症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
クロイツフェルト・ヤコブ病		0	0	0	0	0	0	4	1	1	2	3	85
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 類	0	3	0	0	0	0	24	15	13	12	18	747
後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む)		0	0	0	0	0	0	11	14	24	12	12	534
ジアルジア症		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	24
侵襲性インフルエンザ菌感染症		0	0	0	0	0	0	6	8	8	13	9	329
侵襲性髄膜炎菌感染症		0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	36
侵襲性肺炎球菌感染症		1	0	0	1	1	0	34	35	32	18	28	1713
水痘 (入院例)		1	0	1	0	1	0	16	14	15	11	13	494
先天性風しん症候群	5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多剤耐性緑膿菌感染症		0	0	1	0	0	0	1	5	9	3	4	107
梅毒		5	5	6	4	5	8	166	172	183	163	173	6378
播種性クリプトコックス症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	97
破傷風		0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	1	53
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		0	0	0	0	0	0	7	0	0	1	0	47
百日咳	5 類	1	0	2	0	1	0	76	66	90	80	62	3764
風しん		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
麻疹		0	1	0	0	0	0	4	6	3	0	1	548
薬剤耐性アシネトバクター感染症		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	10
新型インフルエンザ等感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。

※令和8年4月6日から薬剤耐性緑膿菌感染症は多剤耐性緑膿菌に名称変更し、全数把握感染症に変更になりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2026 第 29 週

		静岡県							全国				
		第24週	第25週	第26週	第27週	第28週	今週	計	第26週	第27週	第28週	今週	計
小児科	RSウイルス感染症	17	24	16	19	24	35	135	764	826	976	1,082	3,648
	咽頭結膜熱	31	24	17	20	14	14	120	1,220	1,019	901	777	3,917
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	120	110	72	89	91	81	563	5,076	4,640	4,258	3,944	17,918
	感染性胃腸炎	191	177	175	169	178	140	1030	10,373	10,023	9,669	9,015	39,080
	水痘	7	8	8	11	4	9	47	949	719	867	669	3,204
	手足口病	229	367	465	632	685	595	2973	10,396	15,845	20,557	21,078	67,876
	伝染性紅斑	3	1	2	3	6	10	25	135	131	185	148	599
	突発性発しん	33	13	18	21	18	15	118	759	735	756	658	2,908
	ヘルパンギーナ	52	94	120	152	174	149	741	2,592	3,998	5,161	5,190	16,941
	流行性耳下腺炎	4	2	7	2	5	4	24	119	107	104	135	465
小・内	インフルエンザ	14	10	2	0	27	21	74	310	446	486	749	1,991
	新型コロナウイルス感染症	65	85	81	132	197	279	839	4,044	5,482	7,006	7,921	24,453
眼科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	4	12	2	3	21
	流行性角結膜炎	5	6	5	3	11	5	35	308	331	379	380	1,398
基幹	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	1	1	7	6	11	8	32
	無菌性髄膜炎	0	3	0	0	0	0	3	19	23	25	17	84
	マイコプラズマ肺炎	1	2	1	3	5	5	17	108	126	127	191	552
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	0	4	7	2	5	18
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	1	0	1	0	0	0	2	14	19	8	9	50

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	66	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	42	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

定点把握感染症集計表(定点当り患者数)

2026 第 29 週

		静岡県						全国			
		第24週	第25週	第26週	第27週	第28週	今週	第26週	第27週	第28週	今週
小児科	RSウイルス感染症	0.26	0.36	0.24	0.29	0.36	0.53	0.34	0.37	0.43	0.48
	咽頭結膜熱	0.47	0.36	0.26	0.30	0.21	0.21	0.54	0.45	0.40	0.34
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.82	1.67	1.09	1.35	1.38	1.23	2.25	2.06	1.89	1.75
	感染性胃腸炎	2.89	2.68	2.65	2.56	2.70	2.12	4.60	4.45	4.29	4.00
	水痘	0.11	0.12	0.12	0.17	0.06	0.14	0.42	0.32	0.38	0.30
	手足口病	3.47	5.56	7.05	9.58	10.38	9.02	4.61	7.03	9.12	9.35
	伝染性紅斑	0.05	0.02	0.03	0.05	0.09	0.15	0.06	0.06	0.08	0.07
	突発性発しん	0.50	0.20	0.27	0.32	0.27	0.23	0.34	0.33	0.34	0.29
	ヘルパンギーナ	0.79	1.42	1.82	2.30	2.64	2.26	1.15	1.77	2.29	2.30
	流行性耳下腺炎	0.06	0.03	0.11	0.03	0.08	0.06	0.05	0.05	0.05	0.06
小・内	インフルエンザ	0.13	0.09	0.02	0.00	0.25	0.19	0.08	0.12	0.13	0.20
	新型コロナウイルス感染症	0.60	0.79	0.75	1.22	1.82	2.58	1.08	1.47	1.87	2.12
眼科	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.02	0.00	0.00
	流行性角結膜炎	0.23	0.27	0.23	0.14	0.50	0.23	0.44	0.48	0.55	0.55
基幹	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.01	0.01	0.02	0.02
	無菌性髄膜炎	0.00	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.05	0.05	0.04
	マイコプラズマ肺炎	0.10	0.20	0.10	0.30	0.50	0.50	0.22	0.26	0.26	0.40
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.03	0.04	0.02	0.02

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	66	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	42	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※定点当り患者数とは1週間の1医療機関当りの平均患者数です。(報告数÷定点医療機関数=定点当り患者数)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

定点把握感染症保健所別集計表

第 29 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	35	0.53	14	0.21	81	1.23	140	2.12	9	0.14
賀茂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	3	1.50	0	0.00
熱海	0	0.00	2	0.50	0	0.00	20	5.00	0	0.00
東部	3	0.33	3	0.33	4	0.44	6	0.67	0	0.00
御殿場	0	0.00	4	2.00	6	3.00	7	3.50	0	0.00
富士	4	0.80	0	0.00	5	1.00	7	1.40	0	0.00
静岡市	8	0.73	1	0.09	18	1.64	24	2.18	4	0.36
中部	2	0.25	1	0.13	3	0.38	15	1.88	2	0.25
西部	7	0.88	0	0.00	11	1.38	14	1.75	0	0.00
浜松市	11	0.65	3	0.18	34	2.00	44	2.59	3	0.18

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	595	9.02	10	0.15	15	0.23	149	2.26	4	0.06
賀茂	6	3.00	0	0.00	0	0.00	2	1.00	0	0.00
熱海	22	5.50	0	0.00	0	0.00	7	1.75	0	0.00
東部	57	6.33	0	0.00	2	0.22	21	2.33	0	0.00
御殿場	38	19.00	0	0.00	0	0.00	3	1.50	0	0.00
富士	44	8.80	0	0.00	3	0.60	27	5.40	1	0.20
静岡市	112	10.18	0	0.00	2	0.18	24	2.18	0	0.00
中部	71	8.88	0	0.00	5	0.63	14	1.75	1	0.13
西部	98	12.25	10	1.25	0	0.00	16	2.00	0	0.00
浜松市	147	8.65	0	0.00	3	0.18	35	2.06	2	0.12

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症				指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	注意報基準値	警報基準値	小児科	内科
総数	21	0.19	279	2.58	8.0	16.0	66	42
賀茂	0	0.00	6	2.00	13.0	26.0	2	1
熱海	0	0.00	5	0.83	9.0	18.0	4	2
東部	0	0.00	55	3.44	8.0	16.0	9	7
御殿場	1	0.25	59	14.75	17.0	34.0	2	2
富士	5	0.56	16	1.78	11.0	22.0	5	4
静岡市	4	0.22	3	0.17	6.0	12.0	11	7
中部	2	0.17	10	0.83	8.0	16.0	8	4
西部	0	0.00	53	4.08	10.0	20.0	8	5
浜松市	9	0.33	72	2.67	7.0	14.0	17	10

第 29 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0	0.00	5	0.23	1	0.10	0	0.00	0.50	0.50
賀茂	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-
熱海	...	...	...	...	-	-	-	-	1	1.00
東部	-	-	5	1.25	-	-	-	-	1	1.00
御殿場	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
富士	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2.00
静岡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00
西部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浜松市	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0.00	0.00	0.00	0.00
賀茂	-	-	-	-
熱海	-	-	-	-
東部	-	-	-	-
御殿場	...	...	...	...
富士	-	-	-	-
静岡市	-	-	-	-
中部	-	-	-	-
西部	-	-	-	-
浜松市	-	-	-	-

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

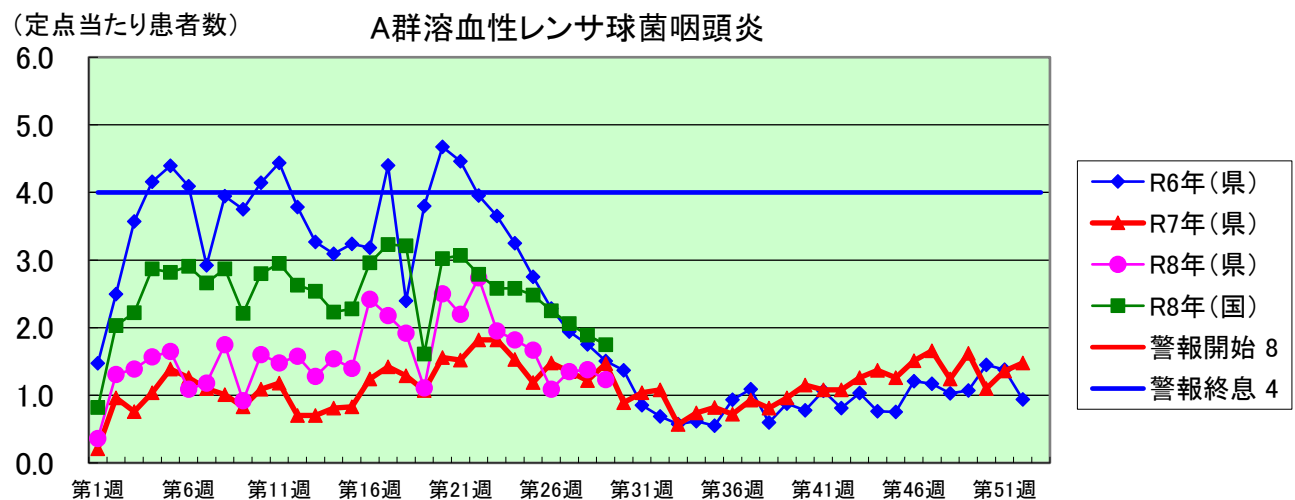
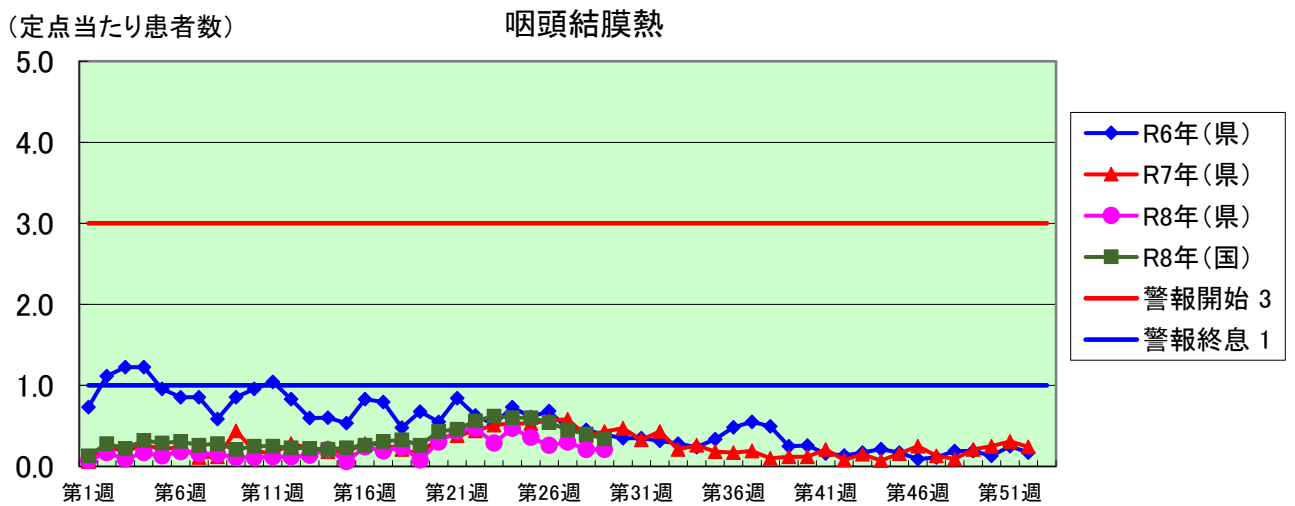
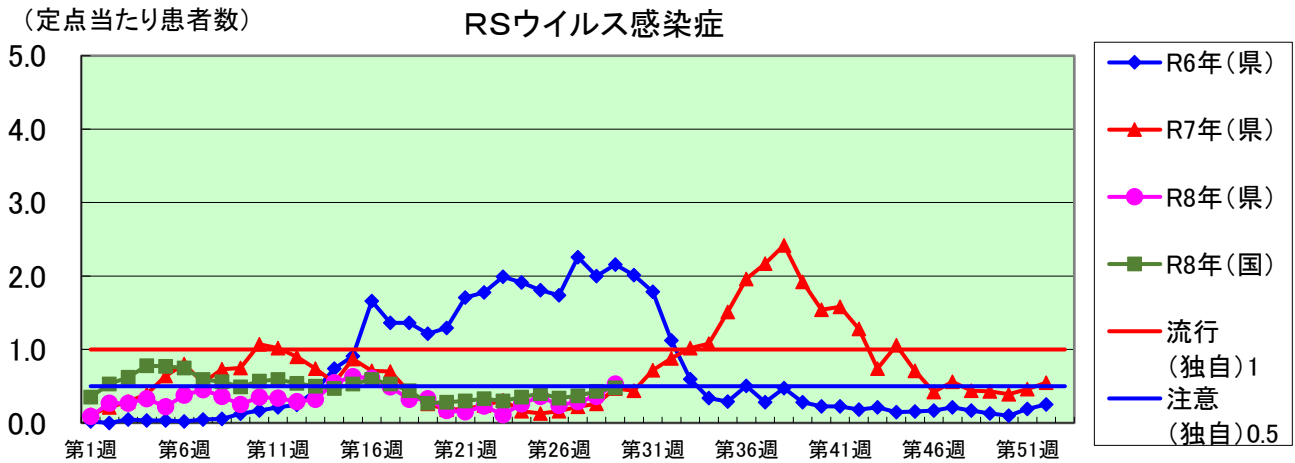
*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

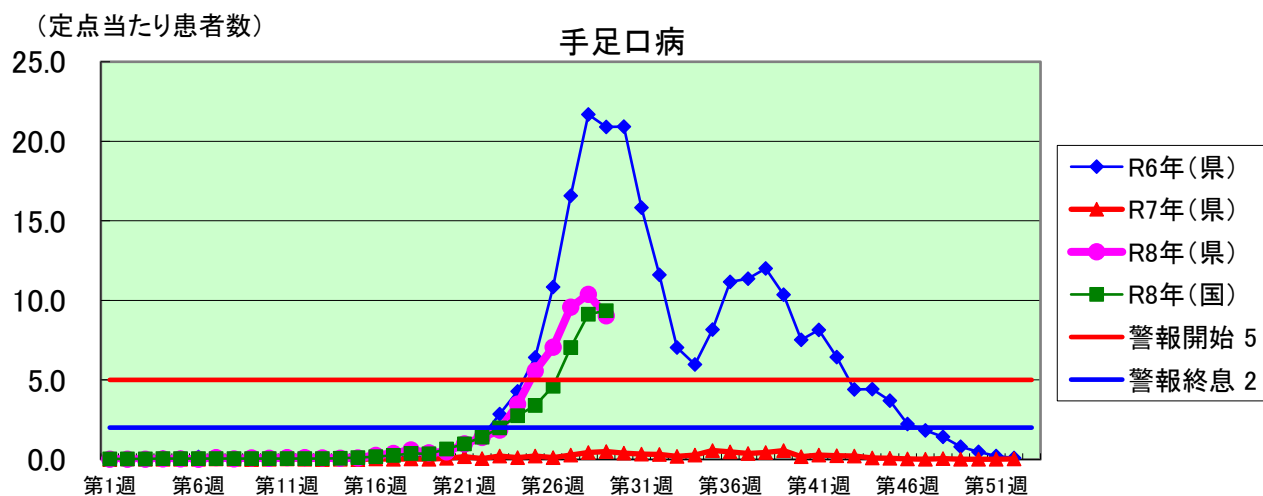
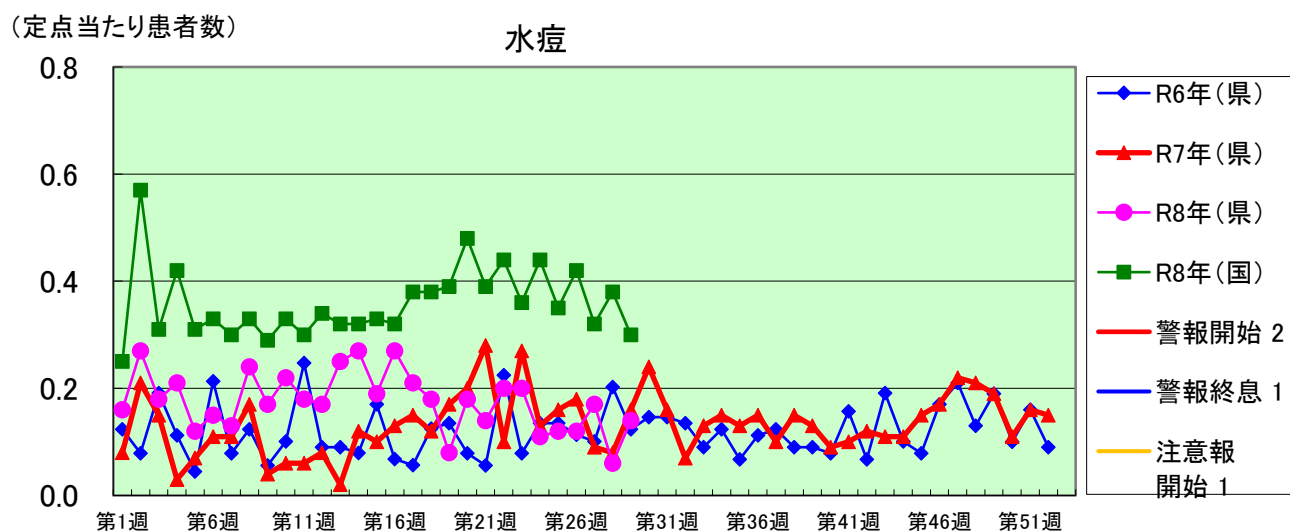
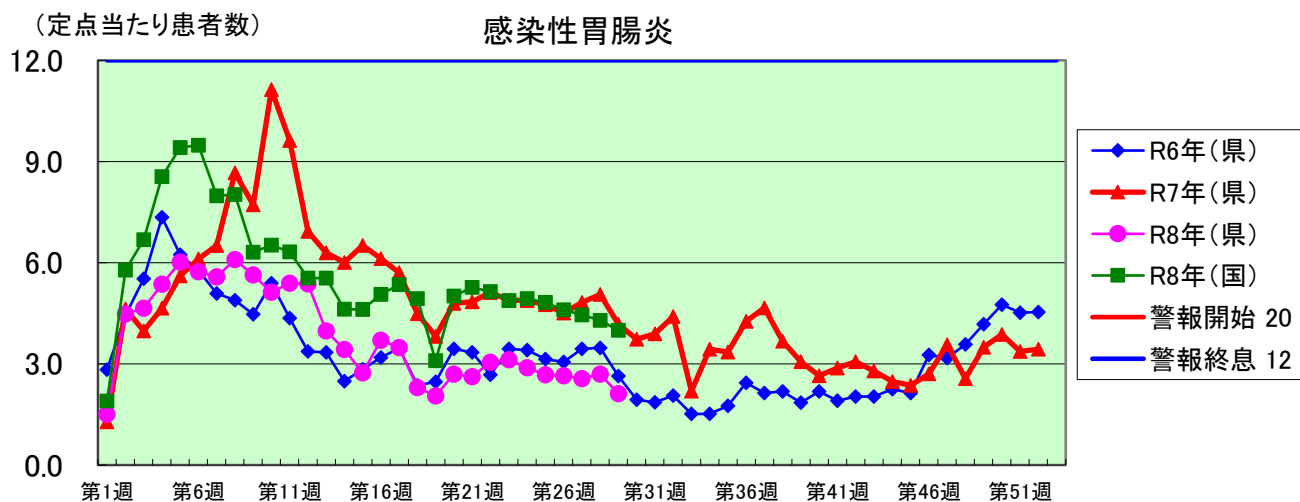
2026 第 29 调

[illegible]

2026 第 29 週

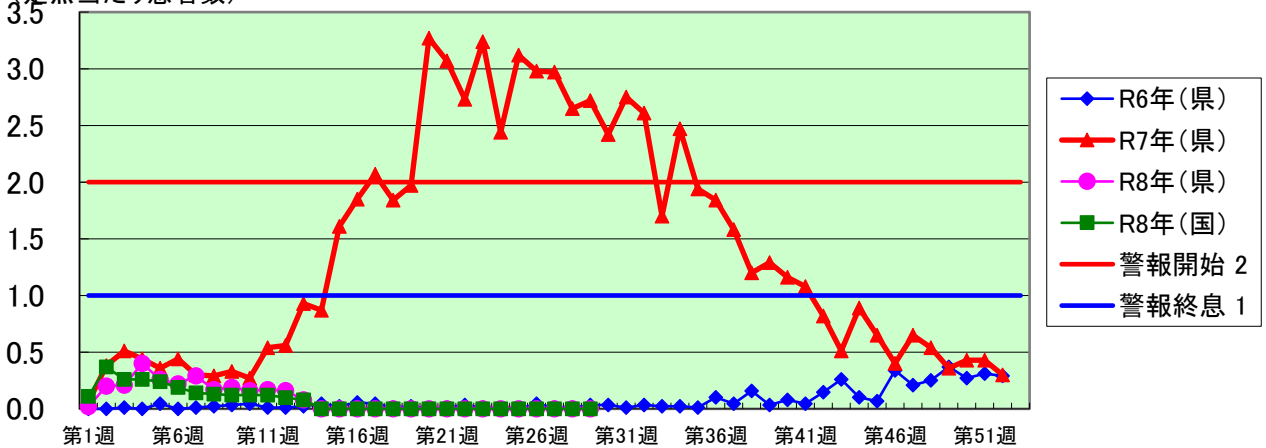
[illegible]





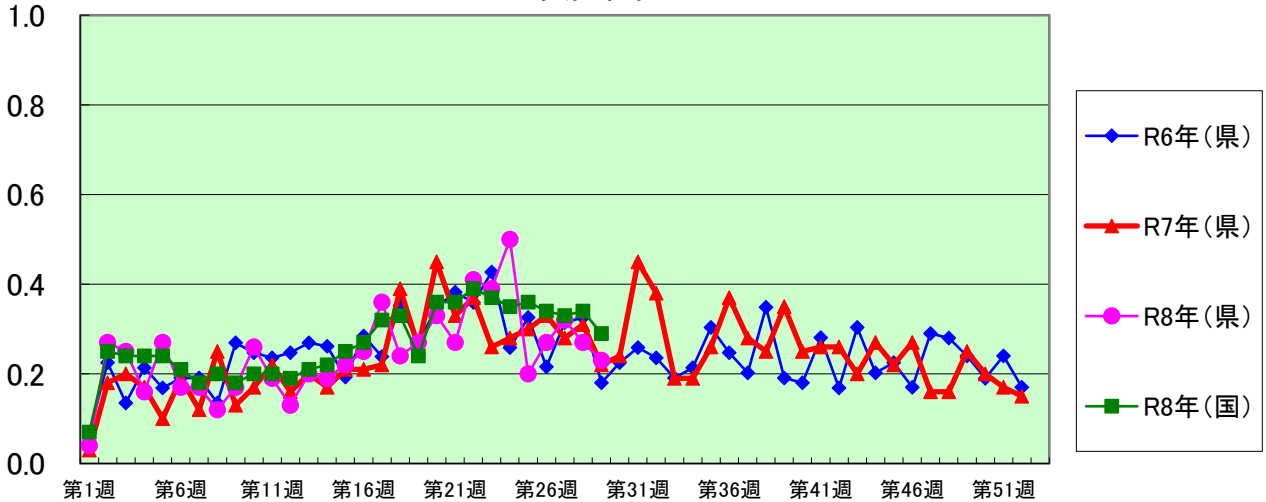
(定点当たり患者数)

伝染性紅斑



(定点当たり患者数)

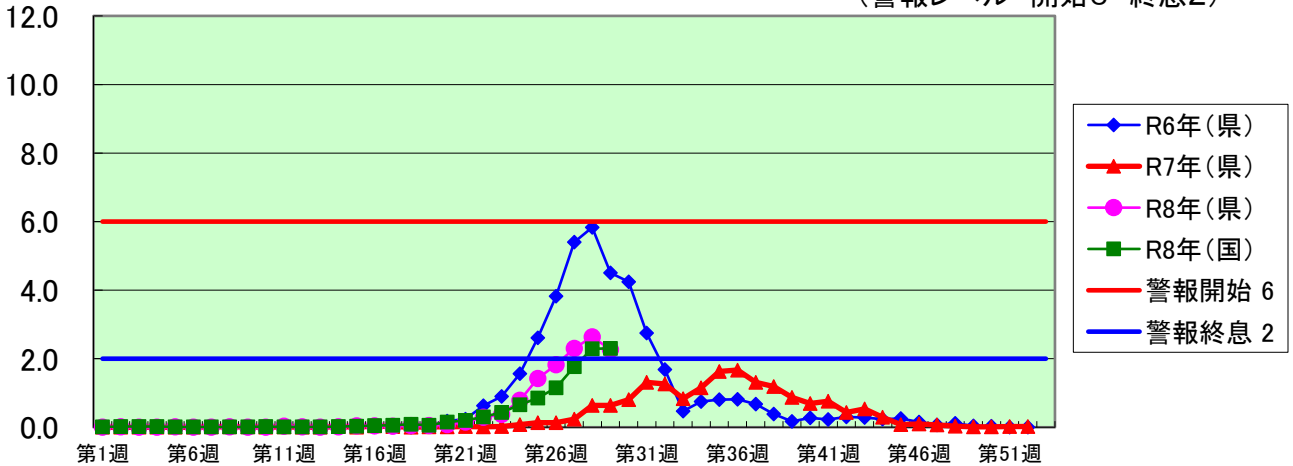
突発性発しん



(定点当たり患者数)

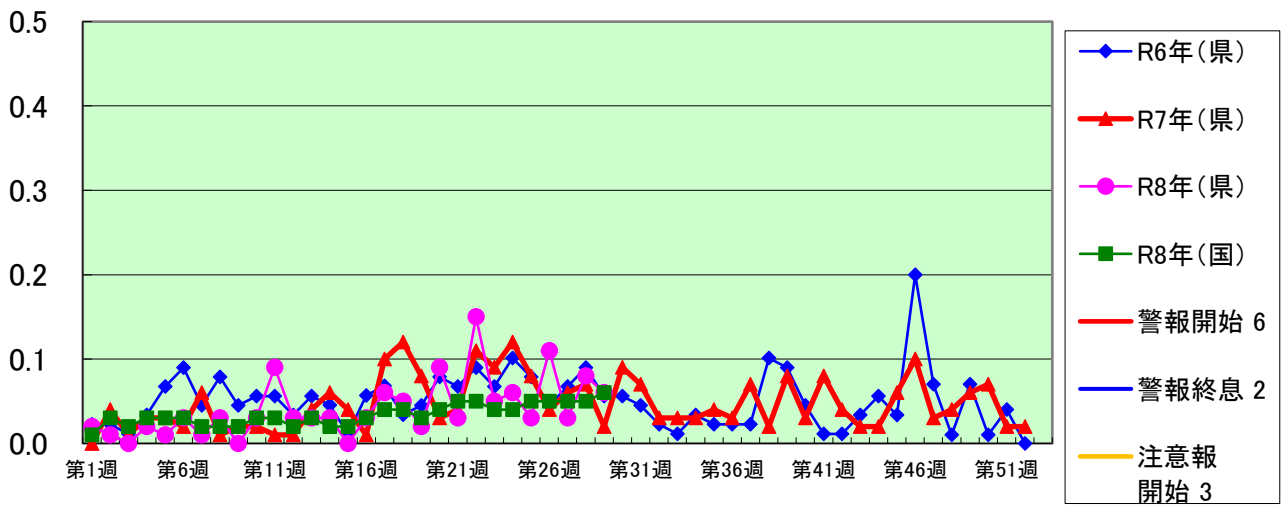
ヘルパンギーナ

(警報レベル 開始6 終息2)



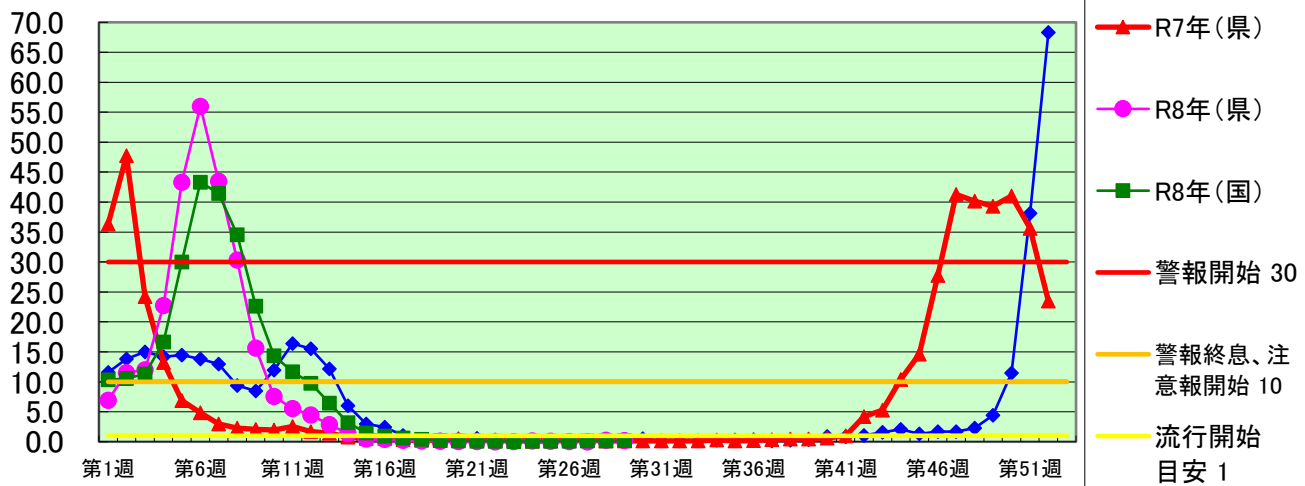
(定点当たり患者数)

流行性耳下腺炎



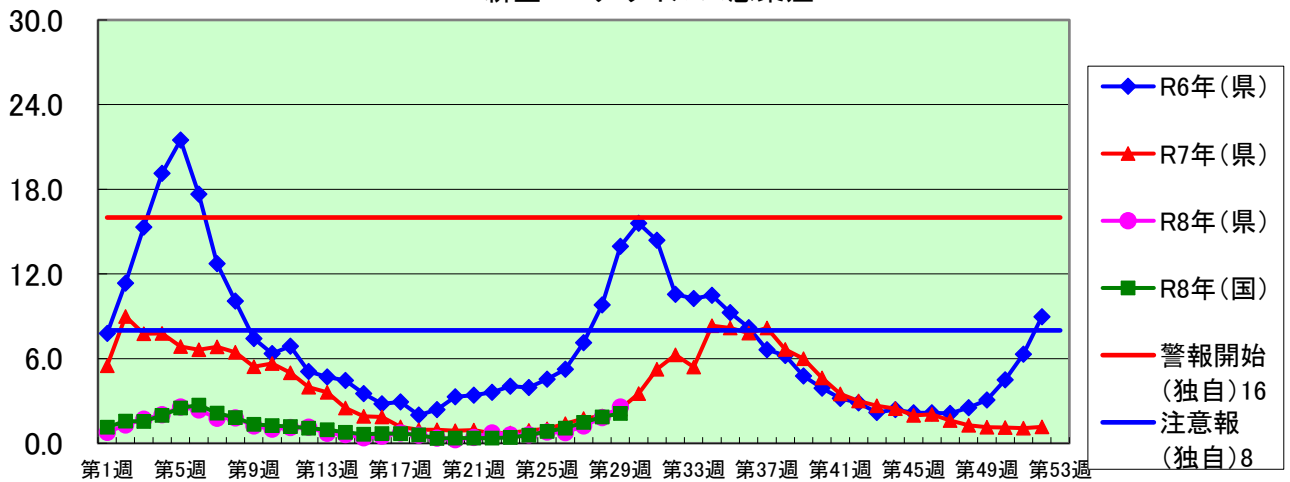
(定点当たり患者数)

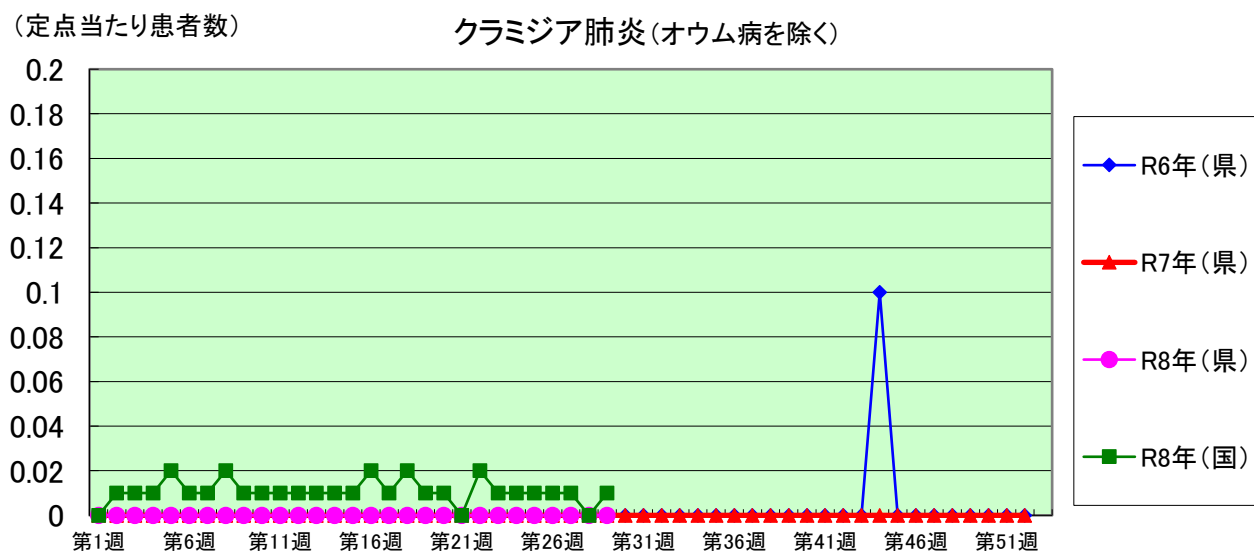
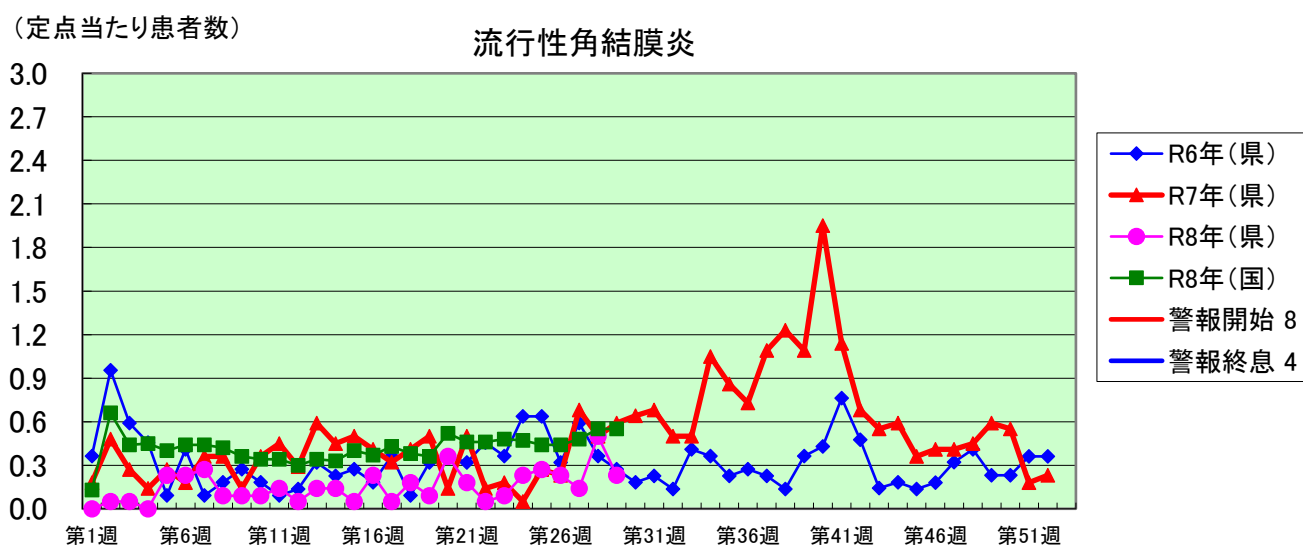
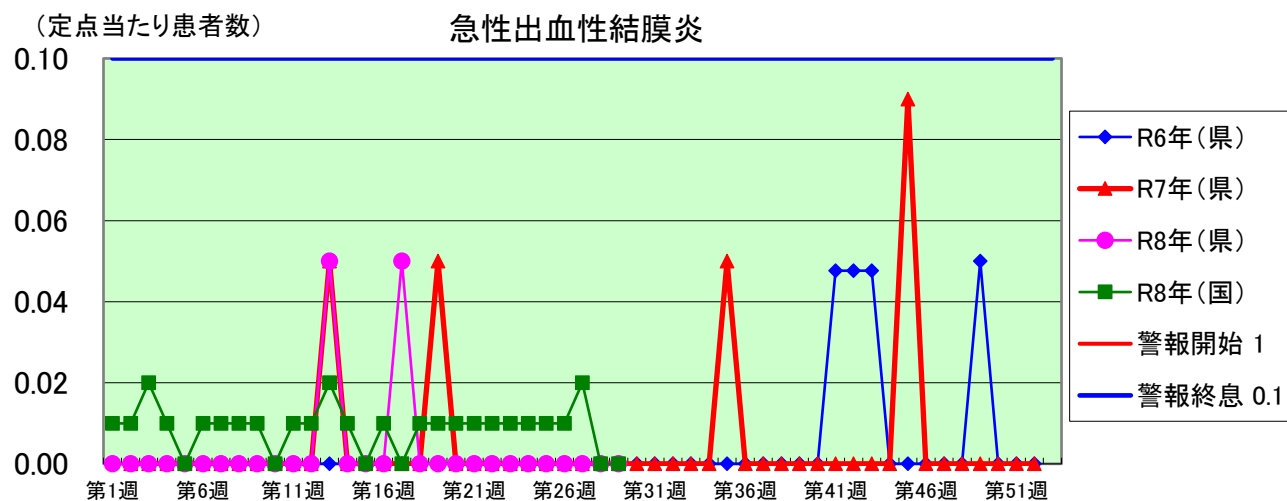
インフルエンザ



(定点当たり患者数)

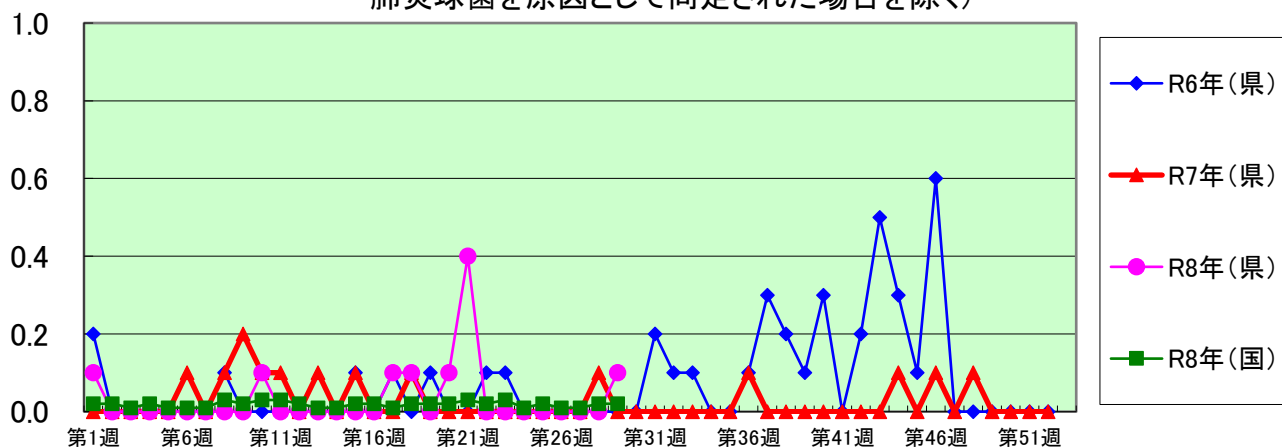
新型コロナウイルス感染症





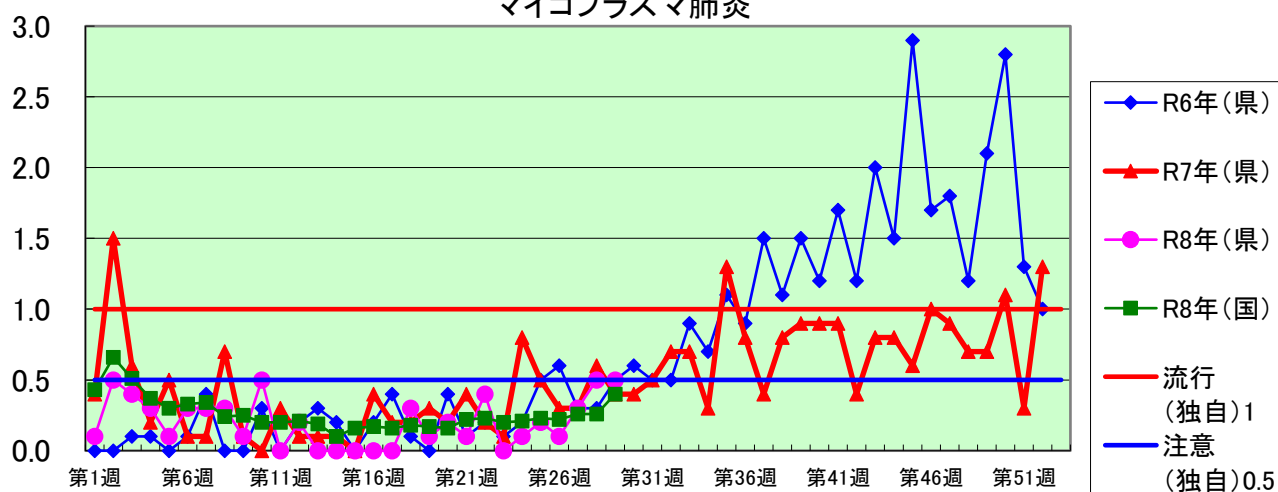
細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く）

（定点当たり患者数）



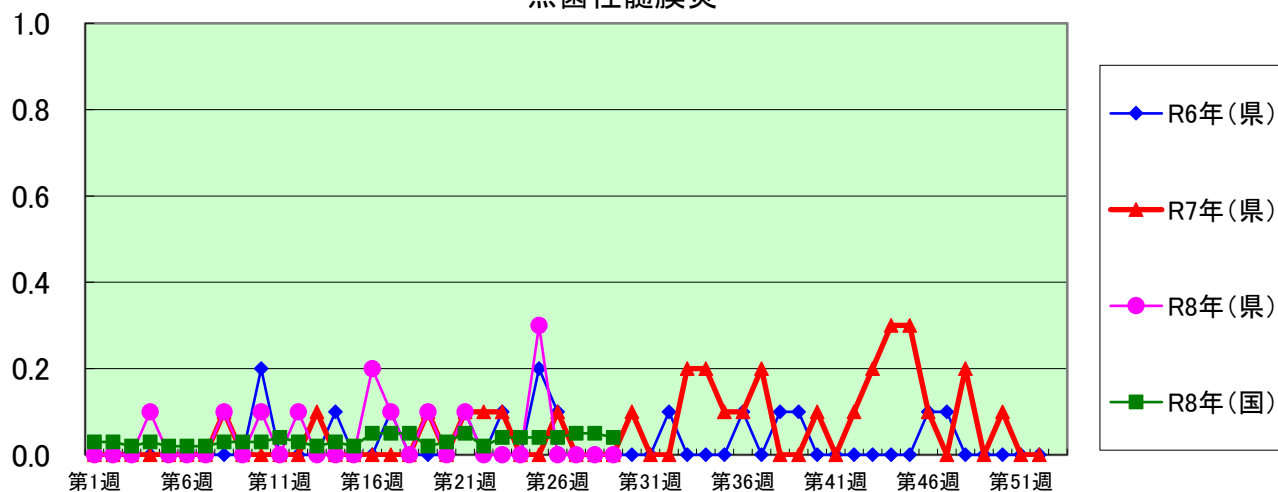
マイコプラズマ肺炎

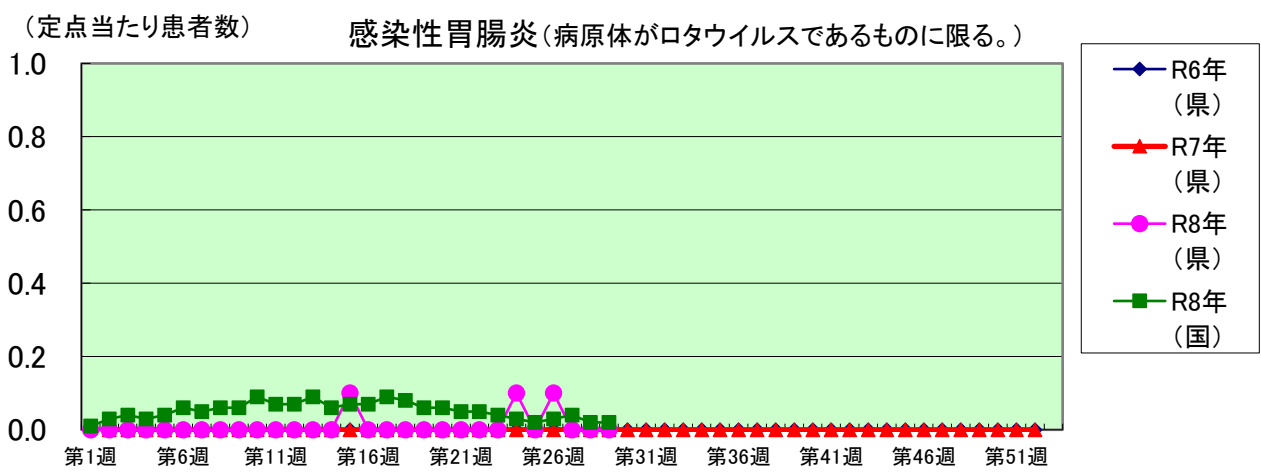
（定点当たり患者数）



無菌性髄膜炎

（定点当たり患者数）





定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2026年 6 月

	静岡県							全国				
	1月	2月	3月	4月	5月	今月	計	3月	4月	5月	今月	計
性器クラミジア感染症	41	33	38	32	43	44	231	2124	2293	2102	2344	8863
性器ヘルペスウイルス感染症	16	9	4	22	16	11	78	844	958	869	1016	3687
尖圭コンジローマ	11	3	5	8	7	7	41	459	452	447	540	1898
淋菌感染症	9	15	9	11	7	10	61	564	623	615	607	2409
性器クラミジア感染症(男)	17	12	19	16	15	18	97	1087	1136	1072	1160	4455
性器クラミジア感染症(女)	24	21	19	16	28	26	134	1037	1157	1030	1184	4408
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	6	1	2	7	4	5	25	324	366	369	374	1433
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	10	8	2	15	12	6	53	520	592	500	642	2254
尖圭コンジローマ(男)	6	-	2	2	6	5	21	313	316	322	402	1353
尖圭コンジローマ(女)	5	3	3	6	1	2	20	146	136	125	138	545
淋菌感染症(男)	8	12	6	9	4	7	46	418	473	445	451	1787
淋菌感染症(女)	1	3	3	2	3	3	15	146	150	170	156	622
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	34	28	31	23	19	21	156	1290	1241	1132	1267	4930
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	25	31	28	34	118
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	-	-	9	6	1	-	16

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2026年 6 月

	静岡県						全国			
	1月	2月	3月	4月	5月	今月	3月	4月	5月	今月
性器クラミジア感染症	1.37	1.10	1.27	1.07	1.43	1.47	2.17	2.36	2.22	2.42
性器ヘルペスウイルス感染症	0.53	0.30	0.13	0.73	0.53	0.37	0.86	0.99	0.92	1.05
尖圭コンジローマ	0.37	0.10	0.17	0.27	0.23	0.23	0.47	0.47	0.47	0.56
淋菌感染症	0.30	0.50	0.30	0.37	0.23	0.33	0.58	0.64	0.65	0.63
性器クラミジア感染症(男)	0.57	0.40	0.63	0.53	0.50	0.60	1.11	1.17	1.13	1.20
性器クラミジア感染症(女)	0.80	0.70	0.63	0.53	0.93	0.87	1.06	1.19	1.09	1.22
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.20	0.03	0.07	0.23	0.13	0.17	0.33	0.38	0.39	0.39
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.33	0.27	0.07	0.50	0.40	0.20	0.53	0.61	0.53	0.66
尖圭コンジローマ(男)	0.20	—	0.07	0.07	0.20	0.17	0.32	0.33	0.34	0.41
尖圭コンジローマ(女)	0.17	0.10	0.10	0.20	0.03	0.07	0.15	0.14	0.13	0.14
淋菌感染症(男)	0.27	0.40	0.20	0.30	0.13	0.23	0.43	0.49	0.47	0.46
淋菌感染症(女)	0.17	0.10	0.10	0.07	0.10	0.10	0.15	0.15	0.18	0.16
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3.40	2.80	3.10	2.30	1.90	2.10	2.68	2.60	2.41	2.64
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	0.05	0.06	0.06	0.07
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	0.02	0.01	0.00	—

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

定点把握感染症(月報)保健所別集計表

2026年 6 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	44	1.47	11	0.37	7	0.23	10	0.33
賀茂	...	...	...	...	...	...	...	...
熱海	4	4	-	-	-	-	-	-
東部	2	0.4	1	0.2	1	0.2	-	-
御殿場	1	1	-	-	-	-	-	-
富士	3	1	2	0.67	1	0.33	-	-
静岡市	13	2.17	4	0.67	2	0.33	6	1
中部	7	1.75	1	0.25	1	0.25	3	0.75
西部	8	1.6	2	0.4	-	-	-	-
浜松市	6	1.2	1	0.2	2	0.4	1	0.2

保健所名	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	21	2.10	0	-	-	-
賀茂	4	4.00	-	-	0	0.00
熱海	-	-	-	-	0	0.00
東部	1	1.00	-	-	0	0.00
御殿場	...	...	...	...	0	0.00
富士	-	-	-	-	0	0.00
静岡市	8	4.00	-	-	0	0.00
中部	2	2.00	-	-	0	0.00
西部	4	4.00	-	-	0	0.00
浜松市	2	1.00	-	-	0	0.00

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

- * 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。
- * 薬剤耐性緑膿菌感染症は、令和8年4月6日から全数把握の対象となりました。

6 月

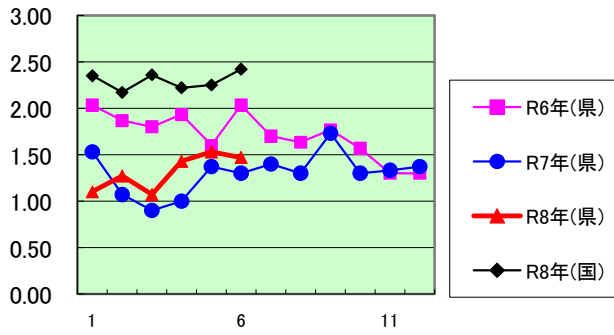
定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

6 月

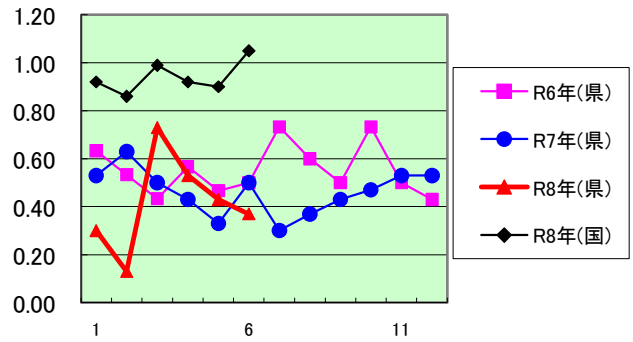
[illegible]

定点把握感染症(月報)推移グラフ

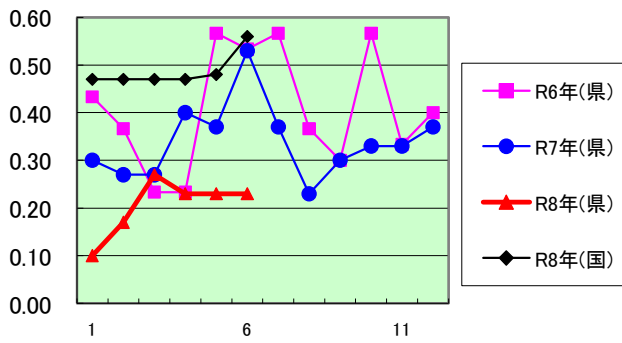
性器クラミジア感染症



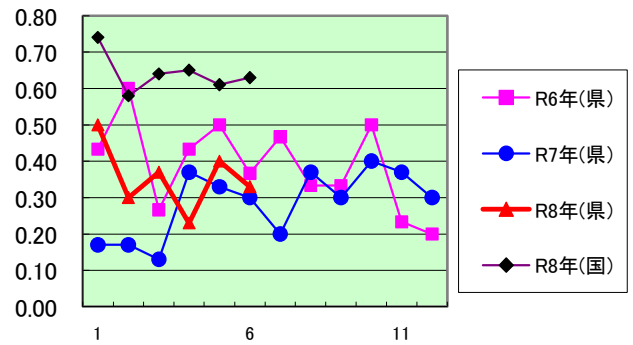
性器ヘルペスウイルス感染症



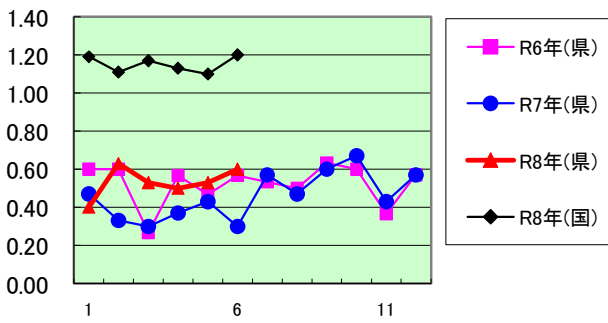
尖圭コンジローマ



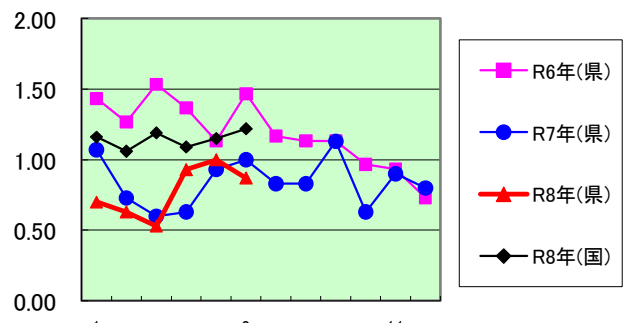
淋菌感染症



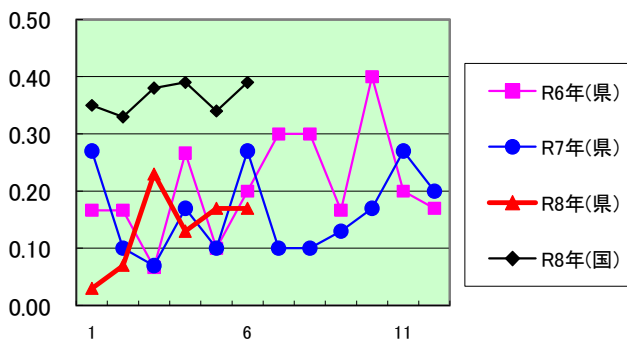
性器クラミジア感染症(男)



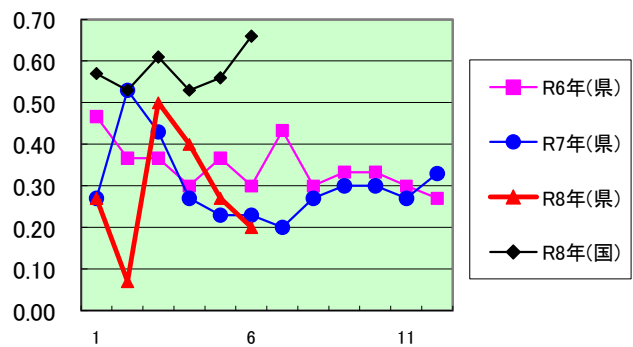
性器クラミジア感染症(女)



性器ヘルペスウイルス感染症(男)

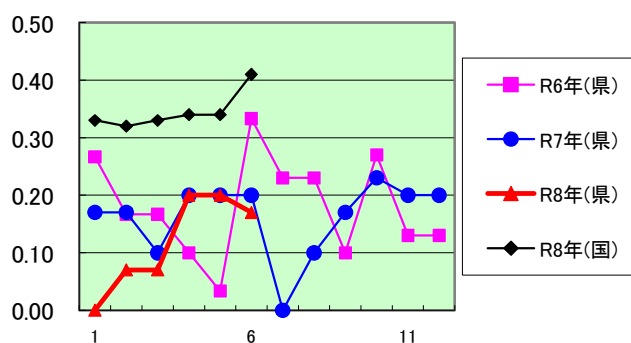


性器ヘルペスウイルス感染症(女)

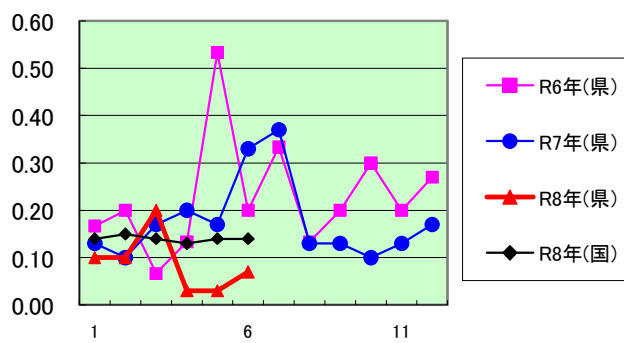


定点把握感染症(月報)推移グラフ

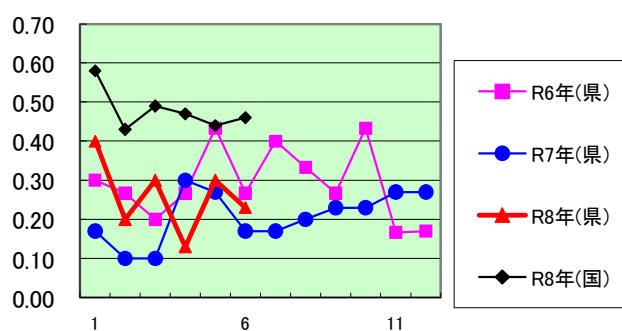
尖圭コンジローマ(男)



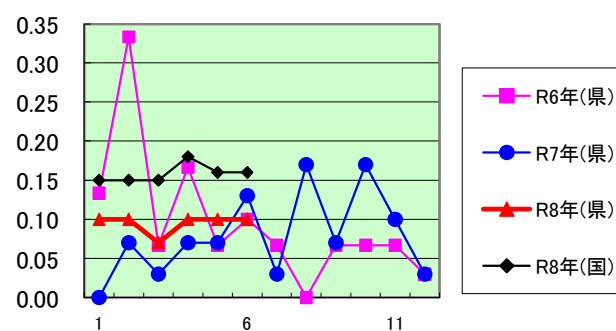
尖圭コンジローマ(女)



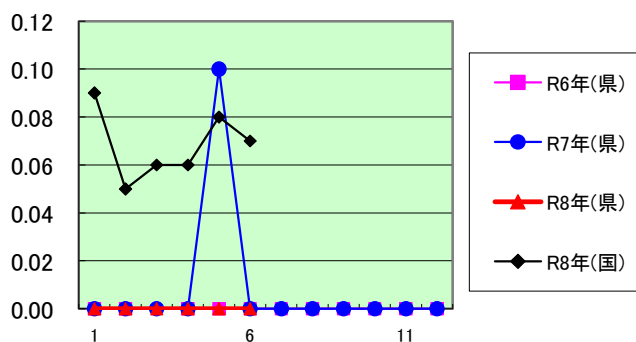
淋菌感染症(男)



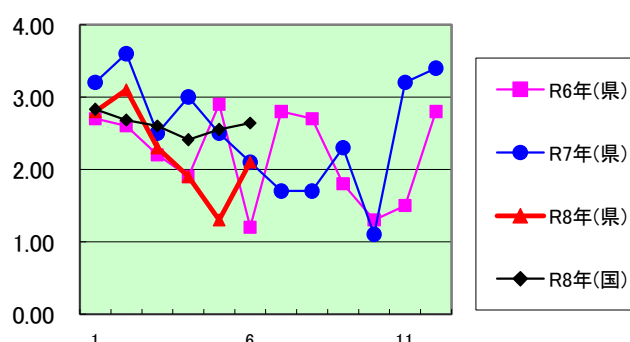
淋菌感染症(女)



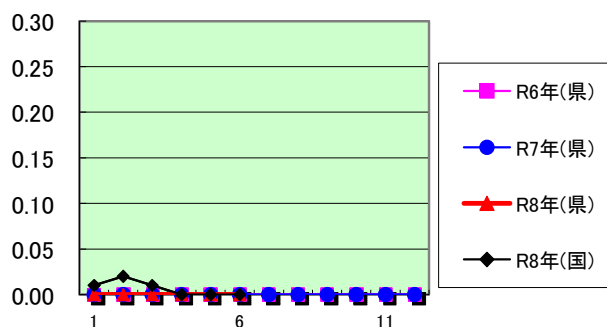
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2026年

第29週

7/13 ~ 7/19

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校
 特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった 学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週 合計	前週	今シーズン 合計
下田市	学校・園の数									0	0	21
	学校・園の患者数合計									0	0	282
東伊豆町	学校・園の数									0	0	13
	学校・園の患者数合計									0	0	189
河津町	学校・園の数									0	0	3
	学校・園の患者数合計									0	0	34
南伊豆町	学校・園の数									0	0	9
	学校・園の患者数合計									0	0	100
松崎町	学校・園の数									0	0	9
	学校・園の患者数合計									0	0	137
西伊豆町	学校・園の数									0	0	8
	学校・園の患者数合計									0	0	82
熱海市	学校・園の数									0	0	16
	学校・園の患者数合計									0	0	139
伊東市	学校・園の数									0	0	36
	学校・園の患者数合計									0	0	518
沼津市	学校・園の数									0	0	121
	学校・園の患者数合計									0	0	2,443
三島市	学校・園の数									0	0	69
	学校・園の患者数合計									0	0	1,397
裾野市	学校・園の数									0	0	47
	学校・園の患者数合計									0	0	654
伊豆市	学校・園の数									0	0	7
	学校・園の患者数合計									0	0	139
伊豆の国市	学校・園の数									0	0	35
	学校・園の患者数合計									0	0	778
函南町	学校・園の数									0	0	26
	学校・園の患者数合計									0	0	490
清水町	学校・園の数									0	0	11
	学校・園の患者数合計									0	0	184
長泉町	学校・園の数									0	0	29
	学校・園の患者数合計									0	0	649
御殿場市	学校・園の数									0	0	96
	学校・園の患者数合計									0	0	1,378
小山町	学校・園の数									0	0	23
	学校・園の患者数合計									0	0	211
富士市	学校・園の数			1						1	0	172
	学校・園の患者数合計			7						7	0	3,268
富士宮市	学校・園の数									0	0	82
	学校・園の患者数合計									0	0	2,076
静岡市清水区	学校・園の数									0	0	142
	学校・園の患者数合計									0	0	2,869
静岡市葵区	学校・園の数									0	0	164
	学校・園の患者数合計									0	0	3,453
静岡市駿河区	学校・園の数									0	0	97
	学校・園の患者数合計									0	0	2,211

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2026年

第29週

7/13 ~ 7/19

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校
特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった 学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週 合計	前週	今シーズン 合計
島田市	学校・園の数										0	95
	学校・園の患者数合計										0	2,193
焼津市	学校・園の数										0	110
	学校・園の患者数合計										0	2,397
藤枝市	学校・園の数										0	147
	学校・園の患者数合計										0	3,133
牧之原市	学校・園の数										0	44
	学校・園の患者数合計										0	762
吉田町	学校・園の数										0	19
	学校・園の患者数合計										0	701
川根本町	学校・園の数										0	2
	学校・園の患者数合計										0	12
磐田市	学校・園の数										0	155
	学校・園の患者数合計										0	3,257
掛川市	学校・園の数										0	130
	学校・園の患者数合計										0	2,708
袋井市	学校・園の数										0	71
	学校・園の患者数合計										0	1,384
湖西市	学校・園の数										0	37
	学校・園の患者数合計										0	601
御前崎市	学校・園の数										0	21
	学校・園の患者数合計										0	444
菊川市	学校・園の数										0	38
	学校・園の患者数合計										0	644
森町	学校・園の数										0	17
	学校・園の患者数合計										0	482
浜松市中央区	学校・園の数										0	486
	学校・園の患者数合計										0	9,974
浜松市浜名区	学校・園の数										0	151
	学校・園の患者数合計										0	3,203
浜松市天竜区	学校・園の数										0	17
	学校・園の患者数合計										0	222
県内合計	学校・園の数			1						1	0	2,776
	学校・園の患者数合計			7						7	0	55,798
2025-2026 シーズン 施設別合計	学校・園の数	22	124	1,532	649	358	31	60				
	学校・園の患者数合計	220	1,125	29,837	13,055	10,377	454	730				

・引き続き、咳エチケット※、手洗い、換気等、基本的な感染対策をお願い致します。

(※ 咳をするときに服のそでやハンカチで口鼻をおおう、マスクの適切な着用が可能なら咳の出るときはマスクを着ける)

新型コロナ変異株ゲノム解析結果について（月 1 回更新）

<変異株の件数> 5月25日（月）～6月21日（日）判明分（解析なし）

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	0	0	0	0	0	0
	(内BA. 2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(内BA. 5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(内組換え体)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

本県の変異株の判明状況（6月21日時点）（解析なし）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	11,327	6,437	2,482	2,408
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
	デルタ株 (R3. 5. 16～)	判明者数	2,411	1,256	648
		(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)
	オミクロン株 (R4. 1. 1～)	判明者数	8,916	5,181	1,834
		(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)
	※オミクロン株 【内、BA. 2】	判明者数	2,173	1,131	562
		(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)
	※オミクロン株 【内、BA. 5】	判明者数	3,515	2,399	831
		(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)
	※オミクロン株 【内、組換え体】	判明者数	904	526	106
		(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)

※県：国立遺伝学研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

過去 1 年間の本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（6 月 21 日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA. 2	内、BA. 5	内、組換え体	BA. 2	BA. 5	組換え体
5月26日（月）～ 6月22日（日）	4	4	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
6月23日（月）～ 7月27日（日）	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
7月28日（月）～ 8月24日（日）	7	6	0	1	85.7%	0.0%	14.3%
8月25日（月）～ 9月21日（日）	3	3	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
9月22日（月）～ 10月26日（日）	21	19	0	2	90.5%	0.0%	9.5%
10月27日（月）～ 11月23日（日）	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
11月24日（月）～ 12月21日（日）	3	3	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
12月22日（月）～ 1月25日（日）	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
1月26日（月）～ 2月22日（日）	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
2月23日（月）～ 3月22日（日）	1	1	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
3月23日（月）～ 4月26日（日）	5	5	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
3月23日（月）～ 4月26日（日）	1	0	0	1	0.0%	0.0%	100.0%
3月23日（月）～ 4月26日（日）	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%

ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む）

5 月 25 日（月）～6 月 21 日（日）判明分（解析なし）

系統名	判明数	割合
PQ	0	0.0%
NB. 1. 8. 1	0	0.0%
KP. 3	0	0.0%
XDR	0	0.0%
RC. 1	0	0.0%
その他	0	0.0%
計	0	0.0%